令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	現代の国語		教科担当	安原詩織
標準単位数	2　単位	使用教科書	東京書籍：新編現代の国語	
レポート数	6　枚	使用副教材	なし	
指導目標	・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を養う。 ・知識や技能を身に付け、論理的に考える力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ、深めることができる。			

スクーリング回数	教科書（課題内容）		対応レポート	
	回	内容（ページ）	回	締切日
	1	ルリボシカミキリの青 教科書P12～P17	第１回	第１回締切
	2	ルリボシカミキリの青 教科書P12～P17	第１回	
	3	未来をつくる想像力 教科書P24～P30　※小テスト（レポート１から出題）	第２回	
	4	未来をつくる想像力 教科書P24～P30	第２回	
	5	水の東西 教科書P33～P37	第２回 第３回	第２回締切
	6	水の東西 教科書P33～P37	第３回	
	7	水の東西 教科書P33～P37	第４回	
	8	鍋洗いの日々 教科書P100～P105　※小テスト（レポート４から出題）	第５回	
	9	鍋洗いの日々 教科書P100～P105　※パフォーマンス課題締切	第５回	最終締切
	10	りんごのほっぺ 教科書P160～P167	第６回	
	11	りんごのほっぺ 教科書P160～P167	第６回	
	12	テスト対策 テスト対策プリントで単位認定試験の勉強をしっかりすること。		

履修の留意点	・選択必履修科目です。・欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 ・空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	言語文化		教科担当	安原詩織
標準単位数	2　単位	使用教科書	東京書籍：新編言語文化	
レポート数	6　枚	使用副教材	なし	
指導目標	・古典特有の語彙や多様な文章表現に関する基礎的な知識を身につける。 ・文章の構成や展開、筆者の意図などを多角的に読み解き、論理的・批判的に思考する力を身につける。 ・言葉を軸にして思考力・想像力・自己表現力を高め、読書や言語活動に楽しみ主体的に生きる力を養う。			

スクーリング回数	教科書（課題内容）		対応レポート	
	回	内容（ページ）	回	締切日
	1	古文の言葉遣いと仮名遣い 教科書P130～P131	第１回	第１回締切
	2	古語を調べるために 教科書P136～P137	第１回	
	3	児のそら寝 教科書P128～P129　※小テスト（レポート１から出題）	第２回	
	4	児のそら寝 教科書P128～P129	第２回	
	5	柳あをめる 教科書P54～P57	第３回	第２回締切
	6	柳あをめる 教科書P54～P57	第３回 第４回	
	7	冬が来た 教科書P62～P63	第４回	
	8	訓読の基本 教科書P218～P225　※小テスト（レポート３から出題）	第４回 第５回	
	9	訓読の基本 教科書P218～P225　※パフォーマンス課題締切	第５回	最終締切
	10	五十歩百歩 教科書P230～P231	第５回 第６回	
	11	五十歩百歩 教科書P230～P231	第６回	
	12	テスト対策 テスト対策プリントで単位認定試験の勉強をしっかりすること。		

履修の留意点	・選択必履修科目です。・欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 ・空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	国語表現（前）	教科担当	佐藤　光子
標準単位数	2　単位	教科書・教材	国語表現
レポート数	6　枚		
指導目標	「話すこと・聞くこと」「書くこと」を、社会生活で必要とされるさまざまなシチュエーションやテーマに対応できる力を養う。 「話すこと・聞くこと」［書くこと」の活動の中で伝え合う力を養う。		

スクーリング回数

回	教科書（課題内容） 内容（ページ）	対応レポート 回	締切日
1	分かりやすく説明しよう［情報の整理・伝達］ P16～P33 送り仮名」・同音同訓異義語の学習。分かりやすい説明をするための工夫。	第1回	第1回締切
2	分かりやすく説明しよう［情報の整理・伝達］ P16～P33 長すぎるぶんを短文にする。相手や目的、・モード応じて、効果的な言葉を選択・調整しながら説明することができる。		
3	分かりやすく説明しよう［情報の整理・伝達］ P16～P33 相手や目的・モードニ応じて、効果的な言葉を選択・調整しながら説明することができる。	第2回	
4	実務的な連絡を、マナーを守り、正しく、分かりやすく用件を伝えることができる。 P46～P81 改まった場面での電話のやり取りができるようになる。 小テスト	第3回	
5	実務的な連絡を、マナーを守り、正しく分かりやすく用件を伝えることができる。 P46～P81 敬語の正しい使い方が出来るようになる。		
6	「自分」を表現しよう 面接・自己PRの仕方を学ぶ。 P46～P81 「係り受け」「文末表現の統一」について学ぶ。	第4回	第2回締切
7	「自分」を表現しよう 面接・自己PRの仕方を学ぶ。」 P46～P81 「適切な敬語」「話し言葉と書き言葉」について学ぶ。		
8	「論理的な文章を書く」 小論文を書く。　P82～P111 P93「推敲のチェック項目」を参考に、言葉遣いや表記の誤り、不適切な表現を適当な表現に直す。	第5回	
9	「論理的な文章を書く」 P82～P111 与えられたテーマや資料をもとに自分の思い・考えを「主張」として組み立て、「根拠」を明確にしながら、「論理的な構成」の文章を書く。	第6回	最終締切
10	「論理的な文章を書く」P82～P1111 パフォーマンス課題 9回で取り組んだ小論文を仕上げる。		
11	テスト対策		
12	単位認定試験		

履修の留意点	欠席した場合、次までに，自分でレポートをやっておくこと。 空欄の多いレポートは、「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して、観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	国語表現（後）	教科担当	佐藤　光子
標準単位数	2　単位	教科書・教材	国語表現
レポート数	6　枚		
指導目標	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の言語活動をとして、実社会で活動できる、確かなことばの力を身に着けることをねらいとしている。 自らの目標をもって、さまざまな学習に取り組むことができる指導を目標としている。		

スクーリング回数	回	教科書（課題内容） 内容（ページ）	対応レポート 回	締切日
	1	話し合う力をつける。「ファシリテーション」の技法を学び、話し合いの中で実践する。P112~P127	第1回	第1回締切
		「言葉のきまり」について、正しい知識を身につける。		
	2	話し合う力をつける。「ファシリテーション」の技法を学び、話し合いの中で実践する。P112~P127		
	3	演習問題をやりながら、登場人物の意見や考えを公平に捉える知識を身につける。	第2回	
		「表現と読書活動」 読書ノートをつける。P128~P139 ①「読んだ本のリスト」 ②「読んでみたい本のリスト」を書く。 今まで読んだ本の中で、心に残っている本をついて、六百字以内で、感想・思いを書く。		
	4	「文学作品、文学史についての知識を身につける」 P128~P139	第3回	
		配布されたプリント、タブレットを活用し、演習問題をやることで、文学の知識を身につける。		
	5	「文学作品、文学史についての知識を身につける」 P128~P139　　小テスト		
		有名な文学作品の冒頭文の作品・作者を答えることができようになる。		
	6	「情報活用力を身につける」 広報資料の読み方 P140~P153	第4回	第2回締切
		広報資料をによるさまざまな情報を、正確に読み取る。		
	7	「情報活用力を身につける」 広報資料の読み方 P140~P153		
		「志願理由書」「面接試験」に関する、演習問題に取り組みながら、実際に書く時の手法を身につける。		
	8	「説得力のある提案をする」 プレゼンテーションの仕方　P154~P167	第5回	
		相手に行動を促すには、どのように表現をすればよいか。演習問題から、手紙の書き方を学ぶ。		
	9	「説得力のある提案をする」 プレゼンテーションの仕方 P154~P167	第6回	最終締切
		「敬語」の正しい使い方について学習する。		
	10	「表現を楽しむ」P168~P188　パフォーマンス課題		
		レポートに出題した2つエッセイのよ読み比べ、魅力的なエッセイを書く手法を学ぶ。		
	11	テスト対策		
	12	単位認定試験		

履修の留意点	欠席した場合、次までに，自分でレポートをやっておくこと。
	空欄の多いレポートは、「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して、観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	文学国語（前）		教科担当	佐藤　光子
標準単位数	2　単位	教科書・教材	文学国語	
レポート数	6　枚			
指導目標	近現代の名作小説を多角的な視点で鑑賞し、文学を読む力を養う。 登場人物の心情を表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について考える。『山月記』 登場人物の心情を理解しつつ、現代社会に生きる私たちが抱える問題について考える。『山椒魚』			

スクーリング回数	教科書（課題内容） 回	内容（ページ）	対応レポート 回	締切日
	1	山月記 P19~P33 1、作者・作品について予備知識を持つ。2、難語句について理解する。	第1回	第1回締切
	2	山月記 P19~P33 第1段落から第3段落までを読み、李徴の性格、発狂・失踪の経過、虎となった李徴の心情を読み取る。		
	3	山月記 P19~P33 第4、5段落を読み、李徴の性情、心情、生き方を読み取る。	第2回	
	4	山月記 P19~P33 第6，7段落を読み、李朝と袁傪の別れの場面を読み取る。	第3回	
	5	山月記 P19~P33　小テスト 人間が虎に化するという虚構を設定した必然性を理解する。		
	6	山椒魚 P57~P70 1、井伏鱒二や「山椒魚」について調べる。2、本文を通読し、あらすじをつかむ。	第4回	第2回締切
	7	山椒魚 P57~P70 第1段落を読み、語句や表現に留意しながら、いわやに閉じ込められた山椒魚の置かれた状況やその心情を読み取る。		
	8	山椒魚 P57~P70 第3，4段落を読み、岩屋の外に出られない山椒魚の嘆き、岩屋の外であそぶ小動物の様子を、感動の瞳で眺める様子を読み取る。	第5回	
	9	山椒魚 P57~P70 第5，6段落を読んで、岩屋の窓から紛れ込んだ蛙を外にでることができないようにした山椒魚と蛙が続ける口論の様子を読み取る。	第6回	最終締切
	10	山椒魚 P57~P70 パフォーマンス課題 第7段落を読み、更に1年が経過した山椒魚と蛙の様子に見られる変化を読み取る。		
	11	テスト対策		
	12	単位認定試験		

履修の留意点	欠席した場合、次までに，自分でレポートをやっておくこと。 空欄の多いレポートは、「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して、観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	古典探究　前半		教科担当	宮仲　基生
標準単位数	2　単位	教科書・教材	新編　古典探究	
レポート数	6　枚			
指導目標	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、古文を通して言語文化に関する関心や理解を深め、古文に親しむ態度を育成する。			

スクーリング回数

回	教科書（課題内容） 内容（ページ）	対応レポート 回	締切日
1	十訓抄「大江山の歌」 教科書P12～P13	第１回	第１回締切
2	十訓抄「大江山の歌」 教科書P12～P13	第１回 第２回	
3	徒然草「丹波に出雲といふ所あり」 教科書P12～P13	第２回	
4	徒然草「丹波に出雲といふ所あり」 教科書P20～P21　※教科書P12～P13，P20～P21の単語の意味と読み等のテスト	第２回 第３回	
5	方丈記「ゆく河の流れ」 教科書P29～P30　※パフォーマンス課題	第３回	第２回締切
6	竹取物語「天の羽衣」 教科書P33～P35　※レポートの提出期限となっています	第３回 第４回	
7	竹取物語「天の羽衣」 教科書P33～P35　※教科書P29～P30，P33～P35の単語の意味と読み等のテスト	第４回	
8	土佐日記「馬のはなむけ」 教科書P54～P55　※パフォーマンス課題	第４回 第５回	
9	土佐日記「馬のはなむけ」 教科書P54～P55	第５回	最終締切
10	更級日記「門出 教科書P58～P59	第５回 第６回	
11	更級日記「門出 教科書P58～P59	第６回	
12	単位認定試験対策 テスト対策プリントで単位認定試験の勉強をしっかりすること。		

履修の留意点	欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	古典探究　後半	教科担当	宮仲　基生
標準単位数	2　単位	教科書・教材	新編　古典探究
レポート数	6　枚		
指導目標	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、古文を通して言語文化に関する関心や理解を深める。古文，漢文に親しむ態度を育成する。		

スクーリング回数	教科書（課題内容） 回	内容（ページ）	対応レポート 回	締切日
	1	枕草子「九月ばかり」「雪のいと高う降りたるを」 教科書P87～P90	第１回	第１回締切
	2	枕草子「九月ばかり」「雪のいと高う降りたるを」 教科書P87～P90	第１回 第２回	
	3	伊勢物語「初冠」「東下り」 教科書P94～P97	第２回	
	4	伊勢物語「初冠」「東下り」 教科書P94～P97　※教科書P87～P90，P94～P97の単語の意味と読み等のテスト	第２回 第３回	
	5	源氏物語「光源氏の誕生」 教科書P126～P128　※パフォーマンス課題	第３回	第２回締切
	6	源氏物語「光源氏の誕生」 教科書P126～P128　※教科書P126～P128の単語の意味と読み等のテスト	第３回 第４回	
	7	源氏物語「若紫」 教科書P33～P35	第４回	
	8	源氏物語「若紫」 教科書P33～P35　※教科書P132～P134，単語の意味と読み等のテスト	第４回 第５回	
	9	漢文　小話「蛇足」 教科書P158～P159	第５回	最終締切
	10	漢文　寓話「刻舟求剣」 教科書P202～P55	第５回 第６回	
	11	漢文　漢詩について 教科書P166～P170	第６回	
	12	単位認定試験テスト対策 テスト対策プリントで単位認定試験の勉強をしっかりすること。		

履修の留意点	欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	歴史総合		教科担当	田中貴大
標準単位数	2　単位	教科書・教材	歴史総合	
レポート数	6　枚			
指導目標	①近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 ②近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察する。 ③よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。			

スクーリング回数	教科書（課題内容） 回	内容（ページ）	対応レポート 回	締切日
	1	P３０～４３　第Ⅰ章近代化と私たち　2節アジアの繁栄と西洋近代の形成	第１回	第１回締切
	2	P３０～５３　第Ⅰ章近代化と私たち　2節アジアの繁栄と西洋近代の形成 3節世界の一体化と多様な近代化	第１回 第２回	
	3	P４８～７９　第Ⅰ章近代化と私たち　3節世界の一体化と多様な近代化	第２回	
	4	P４８～９５　第Ⅰ章近代化と私たち　3節世界の一体化と多様な近代化 第２章　国際秩序の変化や大衆化と私たち　２節第一次世界大戦と大衆社会	第２回 第３回	
	5	P９０～１０７　第２章　国際秩序の変化や大衆化と私たち　２節第一次世界大戦と大衆社会	第３回	第２回締切
	6	P９０～１１７　第２章　国際秩序の変化や大衆化と私たち　２節第一次世界大戦と大衆社会 ３節経済危機と第二次世界大戦	第３回 第４回	
	7	P１１０～１３３　第２章　国際秩序の変化や大衆化と私たち　３節経済危機と第二次世界大戦	第４回	
	8	P１１０～１６４　第２章　国際秩序の変化や大衆化と私たち　３節経済危機と第二次世界大戦 第３章グローバル化と私たち　２節冷戦と世界経済	第４回 第５回	
	9	P１３８～１６４　第３章グローバル化と私たち　２節冷戦と世界経済	第５回	最終締切
	10	P１３８～１９０　第３章グローバル化と私たち　２節冷戦と世界経済 ３節　世界秩序の変容と日本	第５回 第６回	
	11	P１６６～１９０　第３章グローバル化と私たち　３節　世界秩序の変容と日本	第６回	
	12	小テストとパフォーマンス課題の解説・テスト対策		

履修の留意点	欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	地理総合		教科担当	田中貫大
標準単位数	2　単位	教科書・教材	地理総合	
レポート数	6　枚			
指導目標	① 世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図などを用いて、諸資料から地理に関するさまざまな情報を読み取る技能を身に付ける。 ② 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力を養う。 ③ 社会の課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察を深めます。			

スクーリング回数	教科書（課題内容）		対応レポート	
	回	内容（ページ）	回	締切日
	1	P8～23　第1章　地図と地理情報システム　1節　私たちが暮らす世界 2節　地図や地理情報システムの役割	第1回	第1回締切
	2	P14～39　第1章　地図と地理情報システム　2節　地図や地理情報システムの役割 第2章　資料から読み取る現代世界	第1回 第2回	
	3	P40～61　第2章　資料から読み取る現代世界 第1章　人々の生活文化と多様な地理的環境　第1節　生活文化の多様性と国際理解	第2回	
	4	P44～71　第1章　人々の生活文化と多様な地理的環境　第1節　生活文化の多様性と国際理解 第2節　生活文化と自然環境①地形	第2回 第3回	
	5	P72～85　第1章　人々の生活文化と多様な地理的環境　第3節　生活文化と自然環境②気候	第3回	第2回締切
	6	P72～129　第1章　人々の生活文化と多様な地理的環境　第3節　生活文化と自然環境②気候 第1章　人々の生活文化と多様な地理的環境　第3節　生活文化と自然環境③産業	第3回 第4回	
	7	第1章　人々の生活文化と多様な地理的環境　第3節　生活文化と自然環境④宗教・民族	第4回	
	8	P86～143　第1章　人々の生活文化と多様な地理的環境　第3節　生活文化と自然環境④宗教・民族 第2章　さまざまな地球的課題と国際協力　1節～5節	第4回 第5回	
	9	P117～155　第2章　さまざまな地球的課題と国際協力　1節～7節	第5回	最終締切
	10	P117～212　第2章　さまざまな地球的課題と国際協力　1節～7節 第1章　自然環境と防災　1節～2節	第5回 第6回	
	11	P173～212　第1章　自然環境と防災　1節～2節	第6回	
	12	小テストとパフォーマンス課題の解説・テスト対策		

履修の留意点	欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	地理探究（前）	教科担当	豊田昌伸
標準単位数	2　単位	教科書・教材	地理探究
レポート数	6　枚		

指導目標	
	1 気候と自然環境，気候と人々の生活について理解し，判断することができる。 2 気候と自然環境，気候と人々の生活について理解し，判断することができる。 3 日本の自然環境と自然災害，世界の環境問題，産業の発展と社会的分業について理解し，判断することができる。 4 農林水産業，食料問題，エネルギーと鉱産資源について理解し，判断することができる。 5 資源・エネルギー問題，工場の立地と工業地域の変容，第三次産業について理解し，判断することができる。 6 交通・通信，貿易と経済連携，観光，人口について理解し，判断することができる。

スクーリング回数	回	教科書（課題内容） 内容（ページ）	対応レポート 回	締切日
	1	現代世界の系統地理的考察　第1章　自然環境　1節　世界の地形（p.5～19） 地形をつくる力，プレートの運動，変動帯の地形	第１回	第１回締切
	2	現代世界の系統地理的考察　第1章　自然環境　1節　世界の地形（p.20～33） 安定陸塊，河川がつくる地形，海岸と海にみられる地形，気候や地質の影響が強い地形	第１回	
	3	現代世界の系統地理的考察　第１章　自然環境　2節　気候と自然環境（p.34～41） 気温と降水量の分布，風の流れと降水量の分布，水の循環，植生と土壌の分布	第２回	
	4	現代世界の系統地理的考察　第１章　自然環境　３節　気候と人々の生活（p.42～59） ケッペンの気候区分	第２回	
	5	現代世界の系統地理的考察　第１章自然環境　４節　日本の自然環境と自然災害　(p.60～65) 日本の地形と自然災害	第３回	第２回締切
	6	現代世界の系統地理的考察　第１章自然環境　5節　世界の環境問題　第2章　産業と資源　1節　産業の発展と社会的分業（p.66～83） 世界の環境問題，産業の発展と社会的分業	第３回	
	7	現代世界の系統地理的考察　第2章　産業と資源　2節　農林水産業（p.86～97） 農林水産業	第４回	
	8	現代世界の系統地理的考察　第2章　産業と資源　3節　食料問題　4節　エネルギーと鉱産資源（p.98～111） 食料問題　エネルギーと鉱産資源	第４回	
	9	現代世界の系統地理的考察　第2章　産業と資源　5節　資源・エネルギー問題　6節　工業の立地と工業地域の変容(p.112～131) 資源・エネルギー問題，工場の立地と工業地域の変容	第５回	最終締切
	10	現代世界の系統地理的考察　第2章　産業と資源　7節　第三次産業(p.136～141) 第三次産業	第５回	
	11	現代世界の系統地理的考察　第3章　交通・通信，貿易，観光　1節　交通・通信　2節　貿易と経済連携　3節　観光　第4章　人口，村落・都市 交通・通信，貿易と経済連携，観光，人口	第６回	
	12	試験対策		

履修の留意点	欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	地理探究（後）		教科担当	田中貴大
標準単位数	2　単位	使用教科書	地理探究	
レポート数	6　枚	使用副教材		
指導目標	1 人口問題，村落・都市，居住・都市問題，生活文化の地域性について理解し，判断することができる。 2 民族・言語・宗教，民族問題，現代の国家と領土問題，地域区分の意義と方法について理解し，判断することができる。 3 東アジア，東南アジア，南アジアについて理解し，判断することができる。 4 西アジアと中央アジア，北アフリカとサハラ以南アフリカ，ヨーロッパについて理解し，判断することができる。 5 ロシア，アングロアメリカについて理解し，判断することができる。 6 オセアニア，北極・南極，日本の地域構造の変化，持続可能な国土像の探究について理解し，判断することができる。			

スクーリング回数	教科書（課題内容）		対応レポート	
	回	内容（ページ）	回	締切日
	1	現代世界の系統地理的考察　第４章人口，村落，都市　3節　村落・都市　4節　居住・都市問題（p.168～181） 村落・都市，居住・都市問題	第１回	第１回締切
	2	現代世界の系統地理的考察　第5章　生活文化，民族・宗教　1節　生活文化の地域性（p.186～191） 生活文化の地域性	第１回	
	3	現代世界の系統地理的考察　第５章生活文化，民族・宗教　2節　民族・言語・宗教　3節　民族問題　4節　現代の国家と領土問題（p.192～205） 民族・言語・宗教，民族問題，現代の国家と領土問題	第２回	
	4	現代世界の地誌的考察　第２章　現代世界の諸地域　1節　東アジア（p.216～223） 中国	第２回	
	5	現代世界の地誌的考察　第２章　現代世界の諸地域　1節　東アジア　2節　東南アジア　（p.224～235） 韓国，東南アジア	第３回	第２回締切
	6	現代世界の地誌的考察　第２章　現代世界の諸地域　3節　南アジア(p.236～243) 南アジア	第３回	
	7	現代世界の地誌的考察　第２章　現代世界の諸地域　4節　西アジアと中央アジア　5節　北アフリカとサハラ以南アフリカ（p.244～255） 西アジアと中央アジア，北アフリカとサハラ以南アフリカ	第４回	
	8	現代世界の地誌的考察　第２章　現代世界の諸地域　6節　ヨーロッパ（p.256～265） ヨーロッパ	第４回	
	9	現代世界の地誌的考察　第２章　現代世界の諸地域　7節　ロシア(p.266～271) ロシア	第５回	最終締切
	10	現代世界の地誌的考察　第２章　現代世界の諸地域　8節　アングロアメリカ(p.272～281) アメリカ合衆国	第５回	
	11	現代世界の地誌的考察第２章現代世界の諸地域　10節　オセアニア　現代世界と日本の国土像　第1章　持続可能な国土像の探究　1節　日本の地理的諸課題を読み解く　2節　持続可能な国土像の探究（p.288～313） オセアニア，北極・南極，日本の地域構造の変化，持続可能な国土像の探究	第６回	
	12	試験対策		

履修の留意点	欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	日本史探究（前）	教科担当	田中　貴大
標準単位数	2　単位	教科書・教材	日本史探究
レポート数	6　枚		
指導目標	日本歴史を地理的条件や世界史との関連を意識し、多面的多角的に考察する。また、それぞれの時代の歴史事象の背景や多層的な社会の様相との関わり、そこで至るまでの出来事とのつながりに留意し、歴史を流れとして捉え、論理的な思考力を育む。		

スクーリング回数	教科書（課題内容） 回	内容（ページ）	対応レポート 回	締切日
	1	P7～P33　第Ⅰ編　先史・古代の日本と東アジア　第1章　先史社会の生活と文化 第Ⅰ編　先史・古代の日本と東アジア　第2章　歴史資料と先史・古代の展望	第１回	第１回締切
	2	P7～P64　第Ⅰ編　先史・古代の日本と東アジア　第3章　古代社会の形成と展開　1節　2節	第１回 第２回	
	3	P34～P64　第3章　古代社会の形成と展開　2節	第２回	
	4	P34～P97　第3章　古代社会の形成と展開　2節 第2編　中世の日本と世界　第1章　中世社会の成立	第２回 第３回	
	5	P65～P97　第2編　中世の日本と世界　第1章　中世社会の成立 第2章　歴史資料と中世の展望	第３回	第２回締切
	6	P65～P122　第2編　中世の日本と世界　第3章　中世社会の展開　1節　2節	第３回 第４回	
	7	P98～P122　第3章　中世社会の展開　2節	第４回	
	8	P98～P122　第3章　中世社会の展開　2節 P123～P144　第3編　近世の日本と世界　第1章　近世社会の形成	第４回 第５回	
	9	P123～P144　第3編　近世の日本と世界　第1章　近世社会の形成 第2章　歴史資料と近世の展望	第５回	最終締切
	10	P123～P165　第3編　近世の日本と世界　第3章　近世社会の展開　1節	第５回 第６回	
	11	P145～P165　第3章　近世社会の展開　1節　2・3・4・5	第６回	
	12	小テストとパフォーマンス課題の解説・テスト対策		

履修の留意点	欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	日本史探究（後）	教科担当	田中　貴大
標準単位数	2　単位	教科書・教材	日本史探究
レポート数	6　枚		
指導目標	日本歴史を地理的条件や世界史との関連を意識し、多面的多角的に考察する。また、それぞれの時代の歴史事象の背景や多層的な社会の様相との関わり、そこで至るまでの出来事とのつながりに留意し、歴史を流れとして捉え、論理的な思考力を育む。		

スクーリング回数	教科書（課題内容） 回	教科書（課題内容） 内容（ページ）	対応レポート 回	対応レポート 締切日
	1	P166～P186　第3章　近世社会の展開　2節	第１回	第１回締切
	2	P166～P217　第3章　近世社会の展開　2節 第4編　近現代の地域・日本と世界　第1章　近代社会の幕開け	第１回 第２回	
	3	P187～P217　第4編　近現代の地域・日本と世界　第1章　近代社会の幕開け 第2章　歴史資料と近現代の展望	第２回	
	4	P187～P239　第4編　近現代の地域・日本と世界　第3章　近現代社会の展開　1節　2節	第２回 第３回	
	5	P218～P239　第3章　近現代社会の展開　2節	第３回	第２回締切
	6	P218～P269　第3章　近現代社会の展開　2節～4節	第３回 第４回	
	7	P240～P269　第3章　近現代社会の展開　3節・4節	第４回	
	8	P240～P291　第3章　近現代社会の展開　3節・4節・5節・6節	第４回 第５回	
	9	P270～P291　第3章　近現代社会の展開　5節・6節	第５回	最終締切
	10	P270～P321　第3章　近現代社会の展開　5節・6節 第3章　近現代社会の展開　7節・8節	第５回 第６回	
	11	P292～P321　第4章　現代の日本の課題の探究	第６回	
	12	小テストとパフォーマンス課題の解説・テスト対策		

履修の留意点	欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	世界史探究（前半）		教科担当	尾形　義久
標準単位数	2　単位	使用教科書	世界史探究	
レポート数	6　枚	使用副教材	必要に応じて他文献・ネットからのものを使用	
指導目標	・人類誕生、四大文明（メソポタミア、エジプト、インダス、中国）を通し、人間と古代社会の発展、宗教の成立や関りについて理解する。 ・古代帝国の形成や雛体をローマ帝国の共和政・元首政・帝政・隋・唐の皇帝や帰属を中心とする国家・社会の秩序を通して理解するとともに、ヨーロッパ社会の広がりとアジア社会の広がりを理解する。			

スクーリング回数

回	教科書（課題内容） 内容（ページ）	対応レポート 回	締切日
1	文明の誕生（P25） 古代オリエントとエーゲ海地域（P26～）	第１回	第１回締切
2	南アジアの古代文明（P31～）　東アジアにめばえた文明（P33～） 古代オリエントの統一（P36～）	第１回 第２回	
3	古代オリエントの統一（P36～）の続き 古代ギリシアとヘレニズム正秋（P40～）	第２回	
4	古代ギリシアとヘレニズム正秋（P40～）の続き ローマ帝国と地中海世界（P44～）	第２回 第３回	
5	ローマ帝国と地中海世界（P44～）の続き 古代末期の社会と地中海世界の解体（P50～）	第３回	第２回締切
6	地中海世界とアジア（P54～） イスラーム世界の成立（P58～）	第３回 第４回	
7	イスラーム世界の成立（P58～）の世界 中世初期の東西ヨーロッパ（P61～）	第４回	
8	中世初期の東西ヨーロッパ（P61～）の続き 南アジアにおける国家形成（P66～）	第４回 第５回	
9	南アジアにおける国家形成（P66～）の続き インド世界の形成（P69～）	第５回	最終締切
10	インド世界の形成（P69～）の続き 古代帝国の誕生（P79～）	第５回 第６回	
11	中国の分裂と多様化（P85～）　隋唐帝国と東アジア（P89～） 隋唐帝国と東アジア（P89～）の続き　草原地帯のトルコ化とイスラーム化（P96～）	第６回	
12	テスト対策 テスト対策プリントで単位認定試験の勉強をしっかりすること		

履修の留意点	欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	世界史探究（後半）		教科担当	尾形　義久
標準単位数	2　単位	使用教科書	世界史探究	
レポート数	6　枚	使用副教材	必要に応じて他文献・ネットからのものを使用	
指導目標	・近代の代表的な革命（産業革命、アメリカ独立革命、フランス革命）を理解させるとともに、その革命が現代社会にどのような影響を与えているか考察する。 ・近代の帝国主義諸国の世界への進出を理解し、欧米・アフリカ・アジア諸国がどのように結びついていくかを考察する。			

スクーリング回数	教科書（課題内容） 回	教科書（課題内容） 内容（ページ）	対応レポート 回	対応レポート 締切日
	1	産業革命と工業化（P233～） 産業革命と工業化（P233～）の続き　アメリカ合衆国とラテンアフリカ諸国の独立（P235～）	第１回	第１回締切
	2	アメリカ合衆国とラテンアフリカ諸国の独立（P235～）の続き フランス革命の背景（P239）	第１回 第２回	
	3	立憲王政から共和政へ（P239） 革命政治の推移とナポレオン帝政（P240）	第２回	
	4	国民意識の形成（P241） ウィーン体制の成立（P242）ナショナリズム・自由主義・ロマン主義（P243）	第２回 第３回	
	5	自由主義の台頭と新しいい革命の波（ｐ244～） 自由主義の台頭と新しいい革命の波（ｐ244～）の続き	第３回	第２回締切
	6	自由主義の台頭と新しいい革命の波（ｐ244～）の続き 南北アメリカの発展（ｐ256～）	第３回 第４回	
	7	産業資本主義の世界への波及と欧米社会（P260～） 西アジアの危機と改革のはじまり（P263～）	第４回	
	8	南アジア・東南アジアの植民地化（P266～） 清における開発の限界と二つのアヘン戦争（P270～）	第４回 第５回	
	9	清における開発の限界と二つのアヘン戦争（P270～）の続き 西アジア中央アジアの変革（P279～）	第５回	最終締切
	10	南アジア・東南アジアの民族運動（P283～） 清の体制転換と近代国家建設の模索（P287～）	第５回 第６回	
	11	清の体制転換と近代国家建設の模索（P287～）の続き 清の体制転換と近代国家建設の模索（P287～）の続き	第６回	
	12	テスト対策 テスト対策プリントで単位認定試験の勉強をしっかりすること		

履修の留意点	欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	公共	教科担当	田中貴大
標準単位数	2　単位	教科書・教材	公共
レポート数	6　枚		
指導目標	① 現代の諸課題をとらえ考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念とともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。 ② 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や事実をもとに多面的・多角的に考察し判断する力を養う。 ③ 現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、現代社会に生きる人間としてのあり方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権をになう公民として、自国を愛し、その平和と繁栄をはかることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力しあうことの大切さについて考える。		

スクーリング回数	回	教科書（課題内容） 内容（ページ）	対応レポート 回	締切日
	1	P１０～５３　第１部　公共のとびら　第１章～第４章	第１回	第１回締切
	2	P１０～８５　第１部　公共のとびら　第１章～第４章 第１章　民主政治と私たち	第１回 第２回	
	3	P５８～８５　第１章　民主政治と私たち	第２回	
	4	P５８～１０５　第１章　民主政治と私たち 第２章　法の働きと私たち	第２回 第３回	
	5	P１０５～１１５　第２章　法の働きと私たち	第３回	第２回締切
	6	P１０５～１３１　第２章　法の働きと私たち 第３章　経済社会で生きる私たち	第３回 第４回	
	7	P１０５～１３１　第３章　経済社会で生きる私たち	第４回	
	8	P１０５～１６２　第３章　経済社会で生きる私たち 第４章　私たちの職業生活	第４回 第５回	
	9	P１５２～１６２　第４章　私たちの職業生活	第５回	最終締切
	10	P１５２～２０５　第４章　私たちの職業生活 第５章　国際社会のなかで生きる私たち	第５回 第６回	
	11	P１６４～２０５　第５章　国際社会のなかで生きる私たち	第６回	
	12	小テストとパフォーマンス課題の解説・テスト対策		

履修の留意点	欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	倫理	教科担当	田中貴大
標準単位数	2　単位	教科書・教材	倫理
レポート数	6　枚		

指導目標

①現代の諸課題を捉え，より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付ける。
②　自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や，現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して論理的に思考する力を養います。
③　人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり，他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めます。

スクーリング回数

回	教科書（課題内容） 内容（ページ）	対応レポート 回	締切日
1	P8～P42　第1編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方　1章　人間の心のあり方 P8～P42　第1編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方　2章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ　1節　哲学すること	第1回	第1回締切
2	P8～P81　2章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ　2節～6節	第1回 第2回	
3	P43～P81　2章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ　3節～6節	第2回	
4	P43～P120　2章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ　3節～6節 3章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ　1節　近代と人間蘇張の精神	第2回 第3回	
5	P82～P120　3章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ　1節～5節	第3回	第2回締切
6	P82～P156　3章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ　1節～7節 4章　国際社会に生きる日本人としての自覚　1節　日本人の精神風土	第3回 第4回	
7	P121～P156　4章　国際社会に生きる日本人としての自覚　1節　日本人の精神風土	第4回	
8	P121～P198　4章　国際社会に生きる日本人としての自覚　1節～6節	第4回 第5回	
9	P157～P198　4章　国際社会に生きる日本人としての自覚　2節～6節	第5回	最終締切
10	P157～P235　4章　国際社会に生きる日本人としての自覚　2節～7節	第5回 第6回	
11	P199～P235　4章　国際社会に生きる日本人としての自覚　7節 第2編　現代の諸課題と倫理	第6回	
12	小テストとパフォーマンス課題の解説・テスト対策		

履修の留意点	欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	政治・経済	教科担当	石岡　麻衣
標準単位数	2　単位	教科書・教材	政治・経済
レポート数	6　枚		
指導目標	現代の民主主義と経済のしくみに関心を深め、社会の一員としての自覚を持つ		

スクーリング回数

回	教科書（課題内容） 内容（ページ）	対応レポート 回	締切日
1	国会と立法　P48～51	第1回	第1回締切
2	内閣と行政　P52～55	第1回 第2回	
3	裁判所と司法　P56～61	第2回	
4	日本国憲法の基本原理　P26～30	第2回 第3回	
5	選挙と政治意識　P70～73	第3回	第2回締切
6	経済主体と経済の循環　P90～91	第3回 第4回	
7	生産のしくみと企業　P92～95	第4回	
8	市場経済の機能と限界　P96～98	第4回 第5回	
9	寡占化・独占化　P99～100	第5回	最終締切
10	財政のしくみと機能　P114～115	第5回 第6回	
11	財政の課題と財政改革　P116～118	第6回	
12	テスト対策 テスト対策プリントで単位認定試験の勉強をしっかりすること。		

履修の留意点	欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	数学Ⅰ（前）	教科担当	礒部翼
標準単位数	2　単位	教科書・教材	新　数学Ⅰ
レポート数	6　枚		
指導目標	数学的活動を通して，数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め，事象を数学的に考察し表現する能力を高め，創造性の基礎を培うとともに，数学のよさを認識し，それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。		

スクーリング回数	回	教科書（課題内容） 内容（ページ）	対応レポート 回	締切日
	1	展開・因数分解・２次方程式を解く（因数分解の利用） 数の計算・正負の数の計算P3～P24	第１回	第１回締切
	2	２次方程式を解く（解の公式の利用）・１次方程式を解く 数と式・実数・方程式と不等式　P31～P58	第１回 第２回	
	3	整式の計算（加法と減法）・分配法則 文字と式　P32～P47	第２回	
	4	平方根の計算（四則演算とルートの整理） 実数　P48～P57	第２回 第３回	
	5	１次不等式・不等式と数直線 不等式の性質　P58～P72	第３回	第２回締切
	6	２次関数と２次関数のグラフ 2次関数とそのグラフ　P73～P91	第４回	
	7	２次関数と２次関数のグラフ ２次関数とそのグラフ　P73～P91	第４回	
	8	２次関数の頂点・平方完成 ２次関数の値の変化　P92～P101	第５回	
	9	２次関数の最大値と最小値 ２次関数の値の変化　P92～P101	第５回	最終締切
	10	２次関数のグラフとx軸との共有点・２次不等式 ２次関数の値の変化　P92～P101	第６回	
	11	２次不等式 ２次関数の値の変化　P92～P101	第６回	
	12	テスト対策 テスト対策プリントで単位認定試験の勉強をしっかりすること。		

履修の留意点	欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	数学Ⅰ(後半)		教科担当	小早川　典子
標準単位数	2　単位	使用教科書	東京書籍：改訂版　新数学Ⅰ	
レポート数	6　枚	使用副教材	なし	
指導目標	◦数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。◦図形と計量，データの分析および集合と論証についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする			

スクーリング回数	回	教科書（課題内容） 内容（ページ）	対応レポート 回	締切日
	1	タンジェント（P１０７） サイン・コサイン（P１０８，１０９）	第１回	第１回締切 5/28
	2	三角比の利用（P１１０からP１１３）	第１回	
	3	三角比の相互関係（P１１４，１１５） 三角形の面積（P１１７）	第２回	
	4	正弦定理（P１１８，１１９） 余弦定理（P１２０，１２１）	第２回 第３回	
	5	鈍角の三角比（P１２２，１２３）	第３回	第２回締切 7/2
	6	データの特徴の調べ方（P１３２から１３５） 代表値（P１３６）	第４回	
	7	四分位数と箱ひげ図（P１３８，１３９） 分散と標準偏差（P１４０，１４１）	第４回 第５回	
	8	集合（P１５０から１５３）	第５回	
	9	命題と集合（P１５４から１５６）	第５回	最終締切 7/16
	10	命題と証明（P１５８）	第６回	
	11	演習		
	12	テスト対策 テスト対策プリントで単位認定試験の勉強をしっかりすること。		

履修の留意点	・必履修科目です。・欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 ・空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	数学Ⅱ(前半)			教科担当	小早川　典子
標準単位数	2　単位	使用教科書	東京書籍：新数学Ⅱ		
レポート数	6　枚	使用副教材	なし		
指導目標	◦数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を育成することを目指す　◦方程式，図形と方程式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする				

スクーリング回数	教科書（課題内容）		対応レポート	
	回	内容（ページ）	回	締切日
	1	３次の乗法公式と因数分解（P4，５） パスカルの三角形（P6）	第１回	第１回締切
	2	分数式とその計算（P8からP１１） 	第１回	
	3	複素数（P１２，１３） 複素数の計算（P１４，１５）	第２回	
	4	２次方程式の解（P１６，１７） 解と係数の関係（P１８，１９）	第２回 第３回	
	5	多項式のわり算（P２０，２１） 因数定理（P２２，２３）	第３回	第２回締切
	6	因数定理（P２３） 高次方程式（P２４から２６）	第３回 第４回	
	7	直線上の点の座標（P３４から３６） 平面上の点の座標（P３８から４０）	第５回	
	8	直線の方程式（P４５） ２直線の関係（P４９から５１）	第５回	
	9	円の方程式（P５２，５３） 	第６回	最終締切
	10	円の方程式（P５４） 	第６回	
	11	演習 		
	12	テスト対策 テスト対策プリントで単位認定試験の勉強をしっかりすること。		

履修の留意点	・必履修科目です。・欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 ・空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	数学Ⅱ(後半)		教科担当	小早川　典子
標準単位数	2　単位	教科書・教材	新数学Ⅱ	
レポート数	6　枚			
指導目標	◦数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を育成することを目指す　◦三角関数，指数関数と対数関数および微分と積分についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする			

スクーリング回数	教科書（課題内容） 回	内容（ページ）	対応レポート 回	締切日
	1	一般角（P６６，６７） 三角関数（P６８，６９）	第１回	第１回締切
	2	三角関数の相互関係（P７０，７１）　三角関数の性質（P７６，７７） 加法定理（P７８，７９）	第１回 第２回	
	3	加法定理の応用（P８０，８１） 弧度法（P８２，８３）	第２回	
	4	整数の指数（P８６，８７） 累乗根（P８８，８９）	第２回 第３回	
	5	分数の指数（P９０，９１） 指数関数の利用（P９５）	第３回	第２回締切
	6	対数（P９６，９７） 対数の性質（P９８，９９）	第４回	
	7	対数の性質（P９９）　常用対数（P１０２，１０３） 平均変化率（P１０６，１０７）	第４回	
	8	導関数（P１１１） 導関数の計算（P１１２，１１３）	第５回	
	9	接線（P１１４，１１５） 関数の増加・減少（P１１６から１１８）	第５回	最終締切
	10	関数の極大・極小（P１１９から１２１） 関数の最大・最小（P１２２）	第５回 第６回	
	11	不定積分（P１２４から１２７）	第６回	
	12	テスト対策 テスト対策プリントで単位認定試験の勉強をしっかりすること。		

履修の留意点	欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	数学Ⅲ（前）	教科担当	礒部翼
標準単位数	2　単位	教科書・教材	新編　数学Ⅲ
レポート数	6　枚		
指導目標			

スクーリング回数

回	教科書（課題内容） 内容（ページ）	対応レポート 回	締切日
1	第Ⅰ章　関数　P8～ 分数関数・無理関数・逆関数と合成関数	第１回	第１回締切
2	第Ⅰ章　関数　P8～ 分数関数・無理関数・逆関数と合成関数	第１回 第２回	
3	第２章　極限　P26～ 数列の極限（無限等比数列・無限級数）	第２回	
4	第２章　極限　P26～ 数列の極限（無限等比数列・無限級数）	第２回 第３回	
5	第２章　極限　P26～ 関数の極限・三角関数と極限・関数の連続性	第３回	第２回締切
6	第３章　微分法　P70～ 関数の極限の性質・はさみうちの定理・中間値定理	第３回 第４回	
7	第３章　微分法　P70～ 関数の極限の性質・はさみうちの定理・中間値定理	第４回	
8	第３章　微分法　P70～ 導関数・合成関数の導関数・逆関数の微分	第４回 第５回	
9	第３章　微分法　P70～ 導関数・合成関数の導関数・逆関数の微分	第５回	最終締切
10	第３章　微分法　P70～ 三角関数の導関数・対数関数の導関数・指数関数の導関数・第ｎ次関数の導関数	第５回 第６回	
11	第３章　微分法　P70～ 三角関数の導関数・対数関数の導関数・指数関数の導関数・第ｎ次関数の導関数	第６回	
12	テスト対策 テスト対策プリントで単位認定試験の勉強をしっかりすること。		

履修の留意点	欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	科学と人間生活	教科担当	柏原　忠典
標準単位数	2　単位	教科書・教材	改訂　科学と人間生活
レポート数	6　枚		
指導目標	・自然の事物・現象に関わり，理科の味方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。 ・科学に対する興味・関心を高め，科学の基本的な概念や原理・法則を学び，科学的な見方や考え方を養う。		

スクーリング回数	教科書（課題内容）		対応レポート	
	回	内容（ページ）	回	締切日
	1	身の回りの微生物（P16～19）生態系における微生物のはたらき（P20～21） 窒素と微生物のはたらき（P22～23）水中の微生物のはたらき（P24～25）	第１回	第１回締切
	2	食品と微生物（P26～27）発酵のしくみ（P28～31）微生物発見の歴史（P32～33） 医薬品と微生物（P34～35）視覚とは何か・錯視の体験（P40～41）	第１回 第２回	
	3	眼の構造とはたらき・盲斑の確認(P42～43) 遠近調節（P44～45）	第２回	
	4	血糖とは何か（P46～57） 血糖濃度の調節（P48～51）遺伝子とDNA（P52～53）	第２回 第３回	
	5	DNAの遺伝情報からタンパク質へ（P54～55） 免疫ではたらく抗体（P56～57）免疫記憶（P58～59）	第３回	第２回締切
	6	感染症の予防（P60～61）天然繊維（P70～71）合成繊維（P72～73） 体に必要な栄養素(P74～83)資源の再利用と3R(P88～89)金属の性質（P90～99）	第３回 第４回	
	7	さびとその防止（P98～99）金属の再生利用（P100～101） プラスチック（P102～109）光分散（P118～119）	第４回	
	8	さまざまなスペクトル（P124～125）光の三原色（P126～127） 電磁波の利用（P128～133）原子や分子の熱運動（P138～139）	第４回 第５回	
	9	熱の伝わり方（P140～141）熱容量と比熱（P142～145） 力学的エネルギーから熱エネルギーへ（P146）	第５回	最終締切
	10	移り変わる地球の景観（P158～159）山地や低地のでき方（P160） 火山がつくる景観（P162～163）地震による災害（P168～171）	第５回 第６回	
	11	太陽と月がつくる暦（P184～185）海水面の変動（P186～189） 太陽の放射エネルギー（P190～191）大気の大循環（P194～195）	第６回	
	12	テスト対策 テスト対策プリントで単位認定試験の勉強をしっかりすること。		

履修の留意点	欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	生物基礎		教科担当	柏原　忠典
標準単位数	2　単位	使用教科書	新編　生物基礎	
レポート数	6　枚	使用副教材		
指導目標	生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。			

スクーリング回数

回	教科書（課題内容） 内容（ページ）	対応レポート 回	締切日
1	顕微鏡の使い方（P8～9）生物の多様性と共通性（P14～20） 真核細胞の構造（P22～25）	第１回	第１回締切
2	原核細胞の構造（P24）細胞の共通性と多様性（P24） 生命活動とエネルギー（P28）ATPの構造・代謝（P30～31）	第１回 第２回	
3	触媒としてはたらく酵素・酵素の基質特異性（P34～35） 呼吸・光合成（P36～38）細胞内共生説（P39）遺伝情報と形質・DNAと染色体・ゲノム（P46～48）	第２回	
4	遺伝情報を担う遺伝物質（P49）塩基の相補性・DNAの構造・塩基配列（P52～54） 細胞の分裂とDNA（P58～59）タンパク質とアミノ酸（P62～63）DNAとRNA（P67）	第２回 第３回	
5	転写と翻訳・遺伝暗号表（P68～69） 体内環境をつくる体液（P80～81）	第３回	第２回締切
6	体内環境を維持するしくみ（P82～83） 神経系（P86～88）自律神経系による調節（P89～90）	第３回 第４回	
7	脳の構造とはたらき（P90～91）ホルモンによる調節（P92～93） ホルモンの分泌量の調節（P93）主な内分泌腺とホルモンのはたらき（P94）	第４回	
8	血糖濃度を調節するしくみ（P98～99）糖尿病とは（P100） 体温の調節（P101）肝臓のはたらき・腎臓の構造とはたらき（P102～103）	第４回 第５回	
9	体を守るしくみ（P107）適応免疫（P108～110） 記憶細胞と二次応答（P114～117）	第５回	最終締切
10	免疫とさまざまな疾患（P118～121） 植物の侵入と土壌の形成（P134～136）	第５回 第６回	
11	光合成速度（P137）世界のバイオーム（P143） 日本のバイオーム（P144～147）生態系とかく乱（P160～164）	第６回	
12	テスト対策 テスト対策プリントで単位認定試験の勉強をしっかりすること。		

履修の留意点	欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	地学基礎		教科担当	柏原　忠典
標準単位数	2　単位	教科書・教材	改訂　地学基礎	
レポート数	6　枚			
指導目標	地球や地球を取り巻く環境に関わり，理科の味方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。			

スクーリング回数	教科書（課題内容）		対応レポート	
	回	内容（ページ）	回	締切日
	1	丸い大地・地球の大きさ（P12～13）地球の内部構造の形成（P16～17） 地球内部の状態とプレート（P18～19）３種類の境界と大地形（P24～28）	第１回	第１回締切
	2	地震の発生の原因と断層の種類・地震による災害と防災（P30～36） 火山噴火のしくみ・マグマの粘性・さまざまな噴火と火山地形（P40～43）	第１回 第２回	
	3	火成岩の分類（P51～53）大気の層構造（P66～67） 風とその吹き方（P6869）太陽放射・地球放射（P74～75）	第２回	
	4	地球の熱収支・温室効果・放射冷却（P76～77）大気の大循環（82～83） 海水の組成・海洋の層構造（P84～85）海洋の深層循環（P88～89）	第２回 第３回	
	5	日本の季節に影響を与える高気圧・温帯低気圧（P94～95） 季節の特徴と気象災害（P96～99）宇宙を探る（P106～107）	第３回	第２回締切
	6	宇宙の誕生と進化（P108～109）天の川銀河の構造（P110～111） 太陽の誕生・太陽の特徴（P112～115）	第３回 第４回	
	7	太陽系の誕生・太陽系の惑星（P118～123）地球の特徴（P124～125） 地層のでき方・風化（P134～135）	第４回	
	8	堆積物をつくる粒子・堆積する場所と堆積物の種類・続成作用（P136～139） 化石（P144～145）地球の形成・初期の地球（P146～147）	第４回 第５回	
	9	最古の生物・光合成の始まりと真核生物（P148～149） カンブリア時代の世界・古生代の海の生物・海から陸へ（P150～152）	第５回	最終締切
	10	生物大量絶滅後の世界・華やかな海の世界・恐竜の世界（P154～155） 新生代の陸・海のようす・第四紀の氷河時代（P156～157）	第５回 第６回	
	11	人類の進化・生物の変遷とこれから（P160～163）） 地球環境の考え方・人間活動による自然環境の変化（P176～185）	第６回	
	12	テスト対策 テスト対策プリントで単位認定試験の勉強をしっかりすること。		

履修の留意点	欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	保健			教科担当	柳田・近藤
標準単位数	2　単位	使用教科書	現代高等学校保健体育（大修館）		
レポート数	6　枚	使用副教材			
指導目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自ら健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成　する。				

スクーリング回数

回	教科書（課題内容） 内容（ページ）	対応レポート 回	締切日
1	健康の考え方と成り立ち（P4、P5） 健康の考え方と成り立ち（P4、P5）	第１回	第１回締切
2	私たちの健康のすがた（P6,P7） 私たちの健康のすがた（P6,P7）	第１回 第２回	
3	生活習慣病の予防と回復（P10，11） 生活習慣病の予防と回復（P10，11）	第２回	
4	がんの予防（P12，13） がんの予防（P12，13）	第２回 第３回	
5	がんの予防（P12，13） がんの原因と予防（P12，13）	第３回	第２回締切
6	がんの治療と回復（P14，15） がんの治療と回復（P14，15）	第３回 第４回	
7	休養・睡眠と健康（P22，23） 休養・睡眠と健康（P22，23）	第４回	
8	飲酒と健康（P26，27） 飲酒と健康（P26，27）	第４回 第５回	
9	精神疾患の特徴（P56，57） 精神疾患への対応（P58，59）	第５回	最終締切
10	精神疾患の特徴（P34，35） 精神疾患の予防（P36,37）	第５回 第６回	
11	精神疾患からの回復（P38，39） 精神疾患からの回復（P38，39）	第６回	
12	テスト対策 テスト対策プリントで単位認定試験の勉強をしっかりすること。		

履修の留意点	・選択必履修科目です。・欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 ・空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	体育Ⅰ			教科担当	柳田・近藤
標準単位数	2　単位	使用教科書	現代高等保健体育（大修館）		
レポート数	2　枚	使用副教材			
指導目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自ら健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成　する。				

スクーリング回数

回	教科書（課題内容） 内容（ページ）	対応レポート 回	締切日
1	スポーツの始まりと変遷 スポーツがどのように始まったか、なぜスポーツが世界に広まったかを知る。	第１回	最終締切
2	スポーツの始まりと変遷 スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に主体的に取り組む。	第1回	
3	文化としてのスポーツ 運動との比較から文化としてのスポーツの特徴を理解する。	第２回	
4	文化としてのスポーツ 多様なかかわり方によるスポーツ文化の変容について知る。	第2回	
5	実技：体つくり運動 実技：体つくり運動		
6	実技：卓球 実技：卓球		
7	実技：バドミントン 実技：バドミントン		
8	実技：バレー 実技：バレー		
9	実技：武道 実技：武道		
10	実技：登山 実技：登山		

履修の留意点	・選択必履修科目です。・欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 ・空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	体育Ⅱ			教科担当	柳田・近藤
標準単位数	2　単位	使用教科書	現代高等保健体育（大修館）		
レポート数	2　枚	使用副教材			
指導目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自ら健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成　する。				

スクーリング回数

回	教科書（課題内容） 内容（ページ）	対応レポート 回	締切日
1	スポーツにおける技能と体力 運動やスポーツの技能は体力と相互に関連する、技能は体格との関連がある事を知る。	第１回	最終締切
2	スポーツにおける技能と体力 個々の技能に関連した体力を高めていくことを知る。	第1回	
3	スポーツにおける技術と戦術 クローズドスキル型、オープンスキル型の技能について知る。	第２回	
4	スポーツにおける技術と戦術 スポーツの技術や戦術・ルールは用具、用品、施設などの改良によって変わる。	第2回	
5	実技：体つくり運動 実技：体つくり運動		
6	実技：卓球 実技：卓球		
7	実技：バドミントン 実技：バドミントン		
8	実技：バレー 実技：バレー		
9	実技：武道 実技：武道		
10	実技：登山 実技：登山		

履修の留意点	・選択必履修科目です。・欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 ・空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	体育Ⅲ			教科担当	柳田・近藤
標準単位数	2　単位	使用教科書	現代高等保健体育（大修館）		
レポート数	2　枚	使用副教材			
指導目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自ら健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成　する。				

スクーリング回数	教科書（課題内容） 回	内容（ページ）	対応レポート 回	締切日
	1	生涯スポーツの見方・考え方 高度経済成長期からの生活の質を高めるレジャー社会に発展した背景を知る。	第１回	最終締切
	2	生涯スポーツの見方・考え方 「する」「みる」「支える」スポーツのライフステージについて考える。	第1回	
	3	ライフスタイルに応じたスポーツ 現代のライフワークバランスについて知る。	第２回	
	4	ライフスタイルに応じたスポーツ 自身のスポーツへのかかわり方を知り、マイスポーツライフの設計図を考える。	第2回	
	5	実技：体つくり運動 実技：体つくり運動		
	6	実技：卓球 実技：卓球		
	7	実技：バドミントン 実技：バドミントン		
	8	実技：バレーボール 実技：バレーボール		
	9	実技：武道 実技：武道		
	10	実技：登山 実技：登山		

履修の留意点	・選択必履修科目です。・欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 ・空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	体育Ⅳ		教科担当	柳田
標準単位数	2　単位	使用教科書	アクティブスポーツ	
レポート数	2　枚	使用副教材		
指導目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を育成することを目指す。			

スクーリング回数

回	教科書（課題内容） 内容（ページ）	対応レポート 回	締切日
1	体ほぐし運動 さまざまなトレーニング、ストレッチを知る	第１回	最終締切
2	体ほぐし運動 ストレッチの段階方法を知る	第1回	
3	ダンスの歴史 現代までのダンスの種類を知る	第２回	
4	ダンスの歴史 さまざまなダンスの歴史を知る	第2回	
5	実技：ダンス・ウォームアップ（心と体のほぐし） 各部位のストレッチ、リラックスした雰囲気をつくりながら怪我防止のため身体を温める		
6	実技：はじめてのダンス（やさしい段階のダンス） 誰にでもできる動きで音楽にのって動いてみる		
7	実技：ダンス・ウォームアップ（心と体のほぐし） 各部位のストレッチ、リラックスした雰囲気をつくりながら怪我防止のため身体を温める		
8	実技：チャレンジ・ダンス（やや難しい段階のダンス） 自分たちで選曲した音楽のリズムにのってオリジナルな動きを創作工夫し1曲踊ってみる		
9	実技：ダンス・ウォームアップ（心と体のほぐし） 各部位のストレッチ、リラックスした雰囲気をつくりながら怪我防止のため身体を温める		
10	実技：ダンス・タウン（ダンス発表） 作品を完成させ全体で発表する		

履修の留意点	・選択必履修科目です。・欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 ・空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	書道Ⅰ		教科担当	三宅公巳
標準単位数	2　単位	使用教科書	東京書籍 ： 書道Ⅰ	
レポート数	6　枚	使用副教材		
指導目標	時代を超えてさまざまな書に触れながら、書の伝統と文化について考え、書に親しむ心を養い、感性を磨き、創造的な表現を展開する。			

スクーリング回数

回	教科書（課題内容） 内容（ページ）	対応レポート 回	締切日
1	オリエンテーション・〈書写から書道へ〉 教科書　P２～９	第１回	第１回締切
2	〈漢字の書〉漢字の成立と変遷・基本点画 教科書　P12～17	第２回	
3	〈漢字の書〉(1)楷書　○九成宮醴泉銘 教科書　P17～41　○孔子廟堂碑	第３回	第２回締切
4	〈漢字の書〉　○自書告申 ○雁塔聖教序	第３回	
5	〈漢字の書〉　○牛橛造像記	第３回	
6	〈漢字の書〉(2)行書　○蘭亭序 教科書　P42～62	第４回	
7	〈漢字の書〉(3)隷書　○曹全碑 教科書　P66～69	第４回	
8	〈創作〉　○マーブリング作品	第５回	最終締切
9	〈創作〉　○マーブリング作品	第５回	
10	〈仮名の書〉　○単体・連綿 教科書　P78～103	第６回	
11	〈漢字仮名交じりの書〉 教科書　P108～133	第６回	
12	作品制作		

履修の留意点	・欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 ・空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	書の表現の方法や形式、多様性について幅広く理解している。作品を効果的に表現するための基礎的な技術を身に付け、表している。
思・判・表	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。
主体性	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

令和８年度	美　術　Ⅰ		教科担当	池田　哲哉
標準単位数	2　単位	教科書・教材	高校生の美術Ⅰ	
レポート数	6　枚			
指導目標	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに，意図に応じて表現方法を創意工夫し，創造的に表すことができるようにする。 ・造形的なよさや美しさ，表現の意図と創意工夫，美術の働きなどについて考え，主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり，価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 ・主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み，生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，美術文化に親しみ，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。			

スクーリング回数	教科書（課題内容）		対応レポート	
	回	内容（ページ）	回	締切日
	1	鉛筆デッサンを始める前に・形を捕らえる（P132～133）	第１回	第１回締切
		生物デッサン（P134～135）		
	2	さまざまな描画材料(P130)	第１回 第２回	
		水彩画を描く（P136）		
	3	人物を描く（P18～21）自画像を描く(実技)	第２回	
	4	文字の基本（P149）文字の工夫とポスター(P74～75)	第３回	
	5	色彩（P152～55154）　サインのデザイン(P76～77)	第４回	第２回締切
	6	明朝体とゴシック体を描く(実技)		
	7	塑像で表す　抽象彫刻で表す(P58～63)	第5回	
	8	身近な素材と立体表現(P64～65)		
	9	紙粘土で想像する形を作る(実技)		
	10	見る　感じる　感じ取る　考える　表す(P4～5)	第6回	最終締切
		浮世絵版画の魅力(P33～36)		
	11	模写(実技)		
	12	美術の授業全体を通して振り返る。 テスト対策　鉛筆デッサン等をして単位認定実技試験の学習をする。		

履修の留意点	欠席等が続きレートや実技が期限までに提出できないときは家庭でやってくることがあります。
	空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	英語コミュニケーションⅠ（前）	教科担当	豊田・大内・清水・辻
標準単位数	2　単位	教科書・教材	All Aboard! English Communication Ⅰ Revised
レポート数	6　枚		

指導目標

日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、
1．必要な情報を聴き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
2．必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
3．基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話し手伝え合ったりすることができる。
4．基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持などを論理的に注意して話して伝えることができる。
5．基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して文章を書いて伝えることができる。

スクーリング回数

回	教科書（課題内容） 内容（ページ）	対応レポート 回	 締切日
1	Warm-Up Ⅰ アルファベット 2 教室で使う表現 3 辞書の使い方／疑問詞 Pre-Lesson Ⅰ My Name Is Ito Neko オレの名前は伊藤ネコだ　2 I Like Junk Food! オレはジャンクフードが好きだ！ Communication Ⅰ 自己紹介（p.4～15） 各食材の下にある英語の単語を書き、発音を確認する。 授業における典型的な場面でよく使われる英語表現を学習する。 疑問詞で始まる疑問文とその答え方を学習する。 【be動詞】be動詞を用いた文の形・意味・用法 【一般動詞】一般動詞を用いた文の形・意味・用法	第１回	第１回締切
2	Lesson Ⅰ Breakfast around the World 私の朝ごはん（p.16～23） 世界の朝食を紹介するスピーチを通して、その特徴や相違を学習する。 【過去形】動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法	第１回 第２回	
3	Lesson Ⅰ Breakfast around the World 私の朝ごはん（p.16～23） 世界の朝食を紹介するスピーチを通して、その特徴や相違を学習する。 【過去形】動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法	第２回	
4	Lesson 2 Australia's Cute Quokkas 人なつっこい野生動物　（p.24～33） オーストラリアの珍しい野生動物クオッカと観光のルールについて学習する。 【進行形】be動詞＋動詞の-ing形〉を用いた文の形・意味・用法	第２回 第３回	
5	Lesson 2 Australia's Cute Quokkas 人なつっこい野生動物　（p.24～33） オーストラリアの珍しい野生動物クオッカと観光のルールについて学習する。 【進行形】be動詞＋動詞の-ing形〉を用いた文の形・意味・用法	第３回	第２回締切
6	Lesson 3 Life with Spade 愛馬とともに（p.34～43） 愛馬との生活について話す布施蒼依さんのインタビューを通して、人と動物の強いきずなについて学習する。 【助動詞:can, will)】can、will、must、should、have to …を用いた文の形・意味・用法 小テスト:動詞の過去形・ing形	第３回 第４回	
7	Lesson 3 Life with Spade 愛馬とともに（p.34～43） 愛馬との生活について話す布施蒼依さんのインタビューを通して、人と動物の強いきずなについて学習する。 【助動詞:can, will)】can、will、must、should、have to …を用いた文の形・意味・用法	第４回	
8	Lesson 4 A Miracle Mirror 夢のような絶景（p.44～55） 海外の観光地について書かれたメールを通して、その魅力について学習する。 【to不定詞】〈to＋動詞の原形〉「…すること」「…するために」「…するための」を用いた文の形・意味・用法	第４回 第５回	
9	Lesson 4 A Miracle Mirror 夢のような絶景（p.44～55） 海外の観光地について書かれたメールを通して、その魅力について学習する。 【to不定詞】〈to＋動詞の原形〉「…すること」「…するために」「…するための」を用いた文の形・意味・用法 パフォーマンス課題:試験対策用単語・熟語練習リスト作成	第５回	最終締切
10	Lesson 5 A Dream Engine 博多工業高校 自動車工学科（p.56～69） ある工業高校のユニークな取り組みを紹介する記事を通して、将来の夢について考える。 【動名詞】〈動詞の-ing形〉「…すること」を用いた文の形・意味・用法	第５回 第６回	
11	Lesson 5 A Dream Engine 博多工業高校 自動車工学科（p.56～69） ある工業高校のユニークな取り組みを紹介する記事を通して、将来の夢について考える。 【動名詞】〈動詞の-ing形〉「…すること」を用いた文の形・意味・用法	第６回	
12	試験対策		

履修の留意点	欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	英語コミュニケーションⅠ（後）	教科担当	豊田・大内・清水・辻
標準単位数	2　単位	教科書・教材	All Aboard! English Communication Ⅰ Revised
レポート数	6　枚		

指導目標

日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、
1．必要な情報を聴き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
2．必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
3．基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話し手伝え合ったりすることができる。
4．基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して話して伝えることができる。
5．基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して文章を書いて伝えることができる。

スクーリング回数

回	教科書（課題内容） 内容（ページ）	対応レポート 回	締切日
1	Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period 奇想天外な浮世絵師　(p.56～69) 江戸時代の浮世絵師、歌川国芳についてのスピーチを通して、浮世絵と現代マンガの関連性について学習する。 【受け身】〈be動詞＋過去分詞〉「…される」を用いた文の形・意味・用法	第１回 第２回	第１回締切
2	Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period 奇想天外な浮世絵師　(p.56～69) 江戸時代の浮世絵師、歌川国芳についてのスピーチを通して、浮世絵と現代マンガの関連性について学習する。 【受け身】〈be動詞＋過去分詞〉「…される」を用いた文の形・意味・用法	第１回 第２回	
3	Lesson 7 A Diary of Hope アンネ・フランク　(p.84～93) アンネ・フランクが生きた時代と彼女の日記を紹介するプレゼンテーションを通して、生きることの意味について考える。 【比較表現】比較表現〈-er〉〈the -est〉〈as＋原級＋as〉を用いた文の形・意味・用法	第２回	
4	Lesson 7 A Diary of Hope アンネ・フランク　(p.84～93) アンネ・フランクが生きた時代と彼女の日記を紹介するプレゼンテーションを通して、生きることの意味について考える。 【比較表現】比較表現〈-er〉〈the -est〉〈as＋原級＋as〉を用いた文の形・意味・用法 小テスト:不規則動詞の活用(過去形・過去分詞)	第２回 第３回	
5	Lesson 8 A Door to a New Life ロボットカフェ　(p.94～107) ロボットカフェを紹介する実況中継を通して、ロボットの可能性について考える。 【進現在完了形】現在までの経験、継続、完了を表す〈have [has]＋過去分詞〉を用いた文の形・意味・用法	第３回	第２回締切
6	Lesson 8 A Door to a New Life ロボットカフェ　(p.94～107) ロボットカフェを紹介する実況中継を通して、ロボットの可能性について考える。 【進現在完了形】現在までの経験、継続、完了を表す〈have [has]＋過去分詞〉を用いた文の形・意味・用法	第３回 第４回	
7	Lesson 9 Ghosts in the Oceans 海にひそむゴースト　(p.108～119) ゴーストギアが海の生き物に与える影響とその解決策について学習する。 【名詞を後ろから説明する分詞】名詞を後ろから説明する分詞を用いた文の形・意味・用法 小テスト:不規則動詞の活用(過去形・過去分詞・ing形)	第４回	
8	Lesson 9 Ghosts in the Oceans 海にひそむゴースト　(p.108～119) ゴーストギアが海の生き物に与える影響とその解決策について学習する。 【名詞を後ろから説明する分詞】名詞を後ろから説明する分詞を用いた文の形・意味・用法	第４回 第５回	
9	Lesson 10 Pigs from across the Sea 海の向こうからの贈り物　(p.120～131) 第二次世界大戦で疲弊した沖縄と、ハワイ在住の沖縄出身日系アメリカ人からの援助や両地域の現在の交流について学習する。 【関係代名詞】関係代名詞who、whichを用いた文の形・意味・用法 パフォーマンス課題:試験対策用単語・熟語練習リスト作成	第５回	最終締切
10	Lesson 10 Pigs from across the Sea 海の向こうからの贈り物　(p.120～131) 第二次世界大戦で疲弊した沖縄と、ハワイ在住の沖縄出身日系アメリカ人からの援助や両地域の現在の交流について学習する。 【関係代名詞】関係代名詞who、whichを用いた文の形・意味・用法	第５回 第６回	
11	Extra Target 1 人物当てクイズ Extra Target 2 ○○が･･･するのを見た　(p.55,73,) Extra Target 3 もし私が○○なら…　(p.138) 【接続詞】接続詞when, thatを用いた文の形・意味・用法 人物当てクイズ 【知覚動詞(see, hear, feelなど)】〈知覚動詞＋目的語＋動詞の原形［動詞の-ing形］〉を使った表現 【仮定法過去】〈If＋過去形の文, I would ….〉を用いた文の形・意味・用法	第６回	
12	試験対策		

履修の留意点	欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	英語コミュニケーションⅡ（前）	教科担当	豊田・大内・清水・辻
標準単位数	2　単位	教科書・教材	All Aboard! English CommunicationⅡ
レポート数	6　枚		

指導目標

日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、
1．必要な情報を聴き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
2．必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
3．基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話し手伝え合ったりすることができる。
4．基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して話して伝えることができる。
5．基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して文章を書いて伝えることができる。

スクーリング回数

回	教科書（課題内容） 内容（ページ）	対応レポート 回	締切日
1	Pre-Lesson My Plans for This Year 今年やってみたいこと（p.8,9） 新学期にあたり，今年してみたいことを表現する方法について学習する。 【３つの不定詞の用法】と【I want to 「～したい」】を使った表現	第１回	第１回締切
2	Lesson 1 A Colorful Island　ブラーノ島（p.10～19） イタリアのブラーノ島への旅行を報告するSNSを通して，その島の特色について学習する。 【関係代名詞what】を使った表現	第１回 第２回	
3	Lesson 1 A Colorful Island　ブラーノ島（p.10～19） イタリアのブラーノ島への旅行を報告するSNSを通して，その島の特色について学習する。 【関係代名詞what】を使った表現	第２回	
4	Lesson 2 With the Beatles　サムのリクエスト(p.20～29) 曲をリクエストしたラジオ番組の聴取者とディスクジョッキーの対話を通して，世代を超えて人気のあるバンドについて学習する。 【比較表現:more, the most】を使った比較級、最上級	第２回 第３回	
5	Lesson 2 With the Beatles　サムのリクエスト(p.20～29) 曲をリクエストしたラジオ番組の聴取者とディスクジョッキーの対話を通して，世代を超えて人気のあるバンドについて学習する。 【比較表現:more, the most】を使った比較級、最上級	第３回	第２回締切
6	Lesson 3 Wild Men ワイルドマンの世界（p.30～39） ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」についてのスピーチを通して，人間社会と自然について考える。 【itの用法】it is …(for-)to～やIt is …that～を使った表現 小テスト	第３回 第４回	
7	Lesson 3 Wild Men ワイルドマンの世界（p.30～39） ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」についてのスピーチを通して，人間社会と自然について考える。 【itの用法】it is …(for-)to～やIt is …that～を使った表現	第４回	
8	Lesson 4 Little Hero ハチドリのしずく（p.42～55） 世界最小の鳥であるハチドリを紹介する記事とハチドリの物語を通して，不断の努力と不屈の心について考える。 【間接疑問文】の用法	第４回 第５回	
9	Lesson 4 Little Hero ハチドリのしずく（p.42～55） 世界最小の鳥であるハチドリを紹介する記事とハチドリの物語を通して，不断の努力と不屈の心について考える。 【間接疑問文】の用法 パフォーマンス課題:試験対策用単語・熟語練習リスト作成	第５回	最終締切
10	Lesson 5 Special Makeup in Kabuki　歌舞伎メイクの物語（p.56～69） 日本の伝統文化である歌舞伎と隈取について学習する。 【to不定詞を含む表現】to不定詞の意味上の主語	第５回 第６回	
11	Lesson 5 Special Makeup in Kabuki　歌舞伎メイクの物語（p.56～69） 日本の伝統文化である歌舞伎と隈取について学習する。 【to不定詞を含む表現】to不定詞の意味上の主語	第６回	
12	試験対策		

履修の留意点	欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	英語コミュニケーションⅡ（後）	教科担当	豊田・大内・清水・辻
標準単位数	2　単位	教科書・教材	All Aboard! English CommunicationⅡ
レポート数	6　枚		

指導目標	
	日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、 1．必要な情報を聴き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2．必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3．基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話し手伝え合ったりすることができる。 4．基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持などを論理的に注意して話して伝えることができる。 5．基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して文章を書いて伝えることができる。

スクーリング回数	教科書（課題内容）		対応レポート	
	回	内容（ページ）	回	締切日
	1	Lesson 6 Seeds for Future Generations 伝統野菜を未来につなぐ（p.78～91） 海外の高校生に向けた，伝統野菜についてのグループ発表を通して，伝統の継続について考える。 【動詞の目的語になるif節】〈wonder + if …〉「…だろうかと思う」〈ask + 人 + if …〉「…かどうか（人）に尋ねる」	第１回	第１回締切
	2	Lesson 6 Seeds for Future Generations 伝統野菜を未来につなぐ（p.78～91） 世界中で壁画を描く活動についての話を通して，世界の人々と交流する方法について学習する。 【関係副詞：where，whenの用法】	第１回 第２回	
	3	Lesson 7 Over the Wall アートで世界をつなぐ(p.92～105) 世界中で壁画を描く活動についての話を通して，世界の人々と交流する方法について学習する。 【関係副詞：where，whenの用法】	第２回	
	4	Lesson 7 Over the Wall アートで世界をつなぐ(p.92～105) 世界中で壁画を描く活動についての話を通して，世界の人々と交流する方法について学習する。 【関係副詞：where，whenの用法】	第２回 第３回	
	5	Lesson 8 Inspiration from Nature 自然のデザインに学ぶ（p.106～119） 生物模倣についてのオンライン講演の授業を通して，自然界のデザインをヒントに開発された製品について学習する。 【知覚動詞(see，hear，feelなど）】〈知覚動詞＋目的語＋動詞の原形［動詞の-ing形］〉を使った表現	第３回	第２回締切
	6	Lesson 8 Inspiration from Nature 自然のデザインに学ぶ（p.106～119） 生物模倣についてのオンライン講演の授業を通して，自然界のデザインをヒントに開発された製品について学習する。 【知覚動詞(see，hear，feelなど）】〈知覚動詞＋目的語＋動詞の原形［動詞の-ing形］〉を使った表現	第３回 第４回	
	7	Lesson 9 The Bitter Truth behind Chocolate 甘いチョコレートの苦い現実（p.120～133） チョコレートをめぐる現実を取り上げた雑誌記事を通して，カカオ農園の実態と児童労働及びその解決策について学習する。 【使役動詞（make，let，have)】〈使役動詞＋目的語＋動詞の原形〉を使った表現	第４回	
	8	Lesson 9 The Bitter Truth behind Chocolate 甘いチョコレートの苦い現実（p.120～133） チョコレートをめぐる現実を取り上げた雑誌記事を通して，カカオ農園の実態と児童労働及びその解決策について学習する。 【使役動詞（make，let，have)】〈使役動詞＋目的語＋動詞の原形〉を使った表現	第４回 第５回	
	9	Lesson 10　Fighting Angel ナイチンゲール（p.134～147） 医療と看護の発展に一生を捧げたナイチンゲールの生涯について学習する。 【分詞構文】の用法	第５回	最終締切
	10	Lesson 10　Fighting Angel ナイチンゲール（p.134～147） 医療と看護の発展に一生を捧げたナイチンゲールの生涯について学習する。 【分詞構文】の用法	第５回 第６回	
	11	Extra Target 2 ○○ならいいのに…　(p.133) 文法のまとめ 4（教科書p.146,147） 【仮定法過去 】〈I wish＋過去形の文〉の用法 【使役動詞（make，let，have)】〈使役動詞＋目的語＋動詞の原形〉を使った表現	第６回	
	12	試験対策		

履修の留意点	欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	論理・表現Ⅰ		教科担当	清水
標準単位数	2　単位	教科書・教材	NEW FAVORITE English Logic and Expression I Revised	
レポート数	6　枚			

指導目標	多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、 1. 文脈にあった質問や答えを続けることで、情報や考え、気持ちなどを、やり取りを通して伝え合うことができる。 2. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、話して伝えることができる。 3. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、書いて伝えることができる。

スクーリング回数	教科書（課題内容） 回	教科書（課題内容） 内容（ページ）	対応レポート 回	対応レポート 締切日
	1	英語で表現するには　(p.6～12) Point 1 英語には主語が必要！　2　主語の直後に動詞を置いて始めよう！　3　動詞は２種類 4　動詞は一般動詞かbe動詞のどちらかを使おう！　5　英語は文の最初のほうで疑問文か否定分を示す！ 6　内容を伝える工夫をしよう！　7　英語の部品：品詞に注目！	第１回	第１回締切
	2	Unit 1 Lesson 1 初めての食事　(p.14～19) 【留学先での初めての食事の場面】褒める、勧める、断るときの表現の形・意味・用法	第２回	
	3	Unit 1 Lesson 2 道に迷う (p.20～25) 【道に迷った・道を案内する場面】提案する、依頼する、道順を説明するときの表現の形・意味・用法	第２回	
	4	Unit 1 Lesson 3 人物紹介　(p.26～31) 【身近な人を紹介するスピーチ】身近な人を紹介する、聞き手や読み手の注意を引くときの表現の形・意味・用法 小テスト:英語には主語が必要!　道に迷う から	第３回	
	5	Unit 1 Lesson 4 体調が悪い　(p.32～37) 【体調をめぐるやり取りの場面】体調を伝える、体調を尋ねる、指示・アドバイスをするときの表現の形・意味・用法	第３回	第２回締切
	6	Unit 1 Lesson 5 買い物　(p.38～43) 【買い物の場面】描写する、相づちを打つときの表現の形・意味・用法	第４回	
	7	Unit 1 Lesson 6 行ってみたい場所　(p.44～49) 【行ってみたい場所についてのライティング】希望を述べる、理由を述べるときの表現の形・意味・用法	第４回	
	8	Unit 1 Lesson 7 イベントに誘われる　(p.50～55) 【イベントに誘ったり、誘われたりする場面】誘う、誘いを受ける、誘いを断るときの表現の形・意味・用法	第５回	
	9	Unit 1 Lesson 9 お気に入りを紹介　(p.62～67) 【自分のお気に入りを紹介するスピーチ】映画や本のあらすじを要約する、登場人物などを紹介する、感想や批評を述べるときの表現の形・意味・用法	第５回	最終締切
	10	Unit 1 Lesson 10 待ち合わせに遅刻　(p.68～73) 【待ち合わせに遅刻したときの場面】謝る、許す、励ますときの表現の形・意味・用法	第６回	
	11	Unit 1 Lesson 6 行ってみたい場所 (p.48～49) Lesson 9 お気に入りを紹介 (p.66～67) 【英語での文章構成】相手が納得できるよう論理を一貫させて理由を述べたりして、自分の考えや気持ちなどを表現する方法 パフォーマンス課題:「行ってみたい場所」もしくは「お気に入りを紹介」についての文章	第６回	
	12	試験対策		

履修の留意点	欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	家庭基礎		教科担当	髙橋　恵子
標準単位数	2　単位	教科書・教材	家庭基礎　自立・共生・創造	
レポート数	4　枚			
指導目標	・生活を主体的に営むために必要な知識や技能を身につけるとともに、暮らしや生き方を社会の課題と結び付けて考え、新しい価値観や行動を生み出す。 ・実習や実験をする、さまざまな人々と交流する、生活の問題を見つけて調べ、話し合う、解決策を実践して振り返るなどの活動を通して、環境や社会、経済について総合的に考え、持続可能な社会を構築する暮らしの担い手になる。			

スクーリング回数	教科書（課題内容） 回	教科書（課題内容） 内容（ページ）	対応レポート 回	対応レポート 締切日
	1	1．家庭科の学び方について（見返し①②） 2．生活にいかそう（見返し③P.1）	第１回	第１回締切
	2	第1章生涯を見通す　1 人生を展望する（P.14～17） 発達段階と発達課題　青年期の課題	第１回	
	3	第2章人生をつくる　2家族・家庭を見つめる（P.29～30） 家族と法律	第２回	第２回締切
	4	第3章子どもと共に育つ　3　子どもと関わる（P.48～51） 子どもとの関わり方　生活習慣の形成　子どもの安全	第２回	
	5	第4章超高齢社会を共に生きる　1　超高齢・大衆長寿社会を迎えて（P.64～66） 少子化・高齢化の進行　高齢期のライフスタイル	第３回	
	6	小テスト（『第4章超高齢社会を共に生きる』の内容） 第5章共に生き、共に支える　2　社会保障の考え方（P.80～81）	第３回	
	7	第6章食生活をつくる　1　食生活の課題について考える（P.86～89） 青年期の食生活の課題　食事の意義　食生活の課題	第３回	
	8	第7章衣生活をつくる　3　被服を管理する（P.150～155） 被服の手入れ　洗剤と漂白剤の働き　仕上げ・保管	第３回	
	9	第8章住生活をつくる　1　住生活の変遷と住居の機能（P.166～171） 住居の機能　間取りの変化　平面図の読み方	第４回	最終締切
	10	第9章経済生活を営む　1　情報の収集・比較と意思決定（P.186～188） 消費者の意思決定　悪質商法　情報リテラシー	第４回	
	11	第9章経済生活を営む　4　生涯の経済生活を見通す（P.196～201）参照：資産形成ゲーム 資産形成の計画　金融商品の種類と特徴	第４回	
	12	テスト対策 テスト対策プリントで単位認定試験の勉強をしっかりすること。		

履修の留意点	欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	情報Ⅰ		教科担当	宮川　直仁
標準単位数	2　単位	教科書・教材	新編　情報Ⅰ	
レポート数	4　枚			
指導目標	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ，情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用できるようになる。			

スクーリング回数	回	教科書（課題内容） 内容（ページ）	対応レポート 回	締切日
	1	情報Ⅰオリエンテーション	第１回	第１回締切
		ホームポジション（ｐ２０１）、情報とメディアの特性・特徴（ｐ８）		
	2	問題解決の流れ（ｐ１０）、発想法・ブレーンストーミング（ｐ１２）		
		情報モラル（ｐ１４）、個人情報の流出（ｐ１６）SDGs・デジタルデバイド（ｐ２７）		
	3	コミュニケーション手段の変化（ｐ３６）、匿名性（ｐ３８）	第２回	
		デジタル化（前半、ｐ４０～）		
	4	デジタル化（後半、ｐ４０～）		
		ユニバーサルデザイン（ｐ５２）		
	5	五大装置（ｐ６４）	第３回	第２回締切
		論理回路（ｐ６８）		
	6	プログラミング		
	7	データの収集と整理（ｐ１０７）	第３回 第４回	
		２進数（ｐ１７８～）・メール（ｐ１６１、できれば）		
	8	メール（ｐ１６１）	第４回	
		著作権（ｐ２０）		
	9	知的財産権（ｐ２１）		
		グラフ（ｐ１６３）		
	10	レポート予備・パフォーマンス課題記事作り		最終締切
	11	テスト対策1		
	12	テスト対策2		

履修の留意点	欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。
	空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	総合的な探究の時間	教科担当	長尾　恵
標準単位数	2　単位	教科書・教材	学校作成資料
レポート数	1　枚		
指導目標	課題の発見・解決を通して思考力・判断力・表現力や学びに向かう力を育成し、よりよい社会の実現に貢献できる態度を養う。		

スクーリング回数

回	教科書（課題内容） 内容（ページ）	対応レポート 回	締切日
1	進学合同説明会　多くの大学・専門学校の方から話を聞き、自分の卒業後の進路について考える	1	学期末（規定の日）
2	就職合同説明会　広島県・岡山県の企業の方から話を聞き、自分の卒業後の進路について考える	1	
3	大学見学　　関連大学に実際に赴き、見学したり、体験授業を受け、自分の卒業後の進路について考える。	1	
4	消費者教育　外部講師を呼び、ライフプランを作成し、自分の卒業後の進路について考える。	1	
5	大学の講師（岡山理科大学）に来校してもらい、現在の社会問題を経営学的・マーケティングの視点から解決策を考える。	1	
6	大学の講師（倉敷芸術科学大学）に来校してもらい、生物学の知識、生物の内臓と食性の関係を調査・研究する。	1	
7	大学の講師（倉敷芸術科学大学）に来校してもらい、デザインとは何かを学び、デザイン作成を通して、課題を発見する。	1	
8	大学の講師（吉備国際大学）に来校してもらい、園芸療法についての調査・研究を行う。	1	
9			
10			
11			
12			

履修の留意点	上記のスクーリングから興味関心に応じて選択する。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，３つの観点から評価する。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	芸術鑑賞研究		教科担当	大岡　奈都子
標準単位数	2　単位	使用教科書	自主教材	
レポート数	1　枚	使用副教材	自主教材	
指導目標	美術館にて、学芸員による解説を聴きながら作品を実際に鑑賞することで、作品を見るだけでなく体験に落とし込む。さらにレポート作成により感想を自分なりに言語化し、体験の手応えをより深める。今回は二人の刀工を中心とした工芸の比較展示なので、二者の作風の違いを理解できるかが鑑賞のポイントとなる。			

スクーリング回数

回	教科書（課題内容） 内容（ページ）	対応レポート 回	締切日
1	「新刀・東西の巨匠　虎徹と助広」展（ふくやま美術館） 江戸時代を代表する東西の二大刀工、長曽祢虎徹と津田越前守助広の作品が比較展示される。	1	
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			

履修の留意点	鉛筆（※シャーペン・ボールペンは不可）、下敷きを忘れないこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学芸員の解説をしっかり聴いていること。作品に向き合い、自分なりの言葉で感想を述べているか。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	小論文演習		教科担当	長尾　恵
標準単位数	2　単位	教科書・教材	学研プライムゼミ　小論文ベーシック講座テキスト	
レポート数	4　枚			
指導目標	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，実社会に おける他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。小論文の書き方の型を学び、自分の考えを論理的に書くことができる。			

スクーリング回数	回	教科書（課題内容） 内容（ページ）	対応レポート 回	締切日
	1	小論文のスクーリングの受け方 オンライン講座①　視聴	第１回	第１回締切
	2	原稿用紙の書き方・課題文１についての話し合い 課題文１　小論文執筆	第１回	
	3	オンライン講座②　視聴	第２回	
	4	課題文２についての話し合い 課題文２　小論文執筆	第２回	
	5	オンライン講座③　視聴	第３回	第２回締切
	6	復習課題１についての話し合い 復習課題１　小論文執筆	第３回	
	7	オンライン講座④　視聴	第４回	
	8	復習課題２についての話し合い 復習課題２　小論文執筆	第４回	
	9	大学入試問題（パフォーマンス課題１）チャレンジ	パフォーマンス課題	最終締切
	10	大学入試問題（パフォーマンス課題２）チャレンジ	パフォーマンス課題	
	11	大学入試問題（パフォーマンス課題３）チャレンジ	パフォーマンス課題	
	12	単位認定試験対策		

履修の留意点	欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	高校数学入門A		教科担当	礒部翼
標準単位数	2　単位	教科書・教材	数学Ⅰ入門	
レポート数	6　枚			
指導目標	・高等学校の学習内容に入る前に、特に身につけておくべき内容（小学校や中学校での学習内容）を重点的に学び、高等学校の数学Ⅰへの準備を行う。 ・基礎的な数の計算から、正負の数や平方根の計算。文字式から発展し整式の計算を行い、２次方程式につながる展開と因数分解を身につける。			

スクーリング回数

回	教科書（課題内容） 内容（ページ）	対応レポート 回	締切日
1	整数・四則演算の順序・累乗と指数（P７～３３） 自然数と整数。加法・減法・乗法・除法の順番について。指数の概念と発展。	第１回	第１回締切
2	四則演算の順序・累乗と指数（P７～３３） 整数の性質（倍数・約数・最小公倍数・最大公約数・素数）	第１回 第２回	
3	分数とは・分数の性質（P43～56） 分数の成り立ちや性質・性質を利用した通分	第２回	
4	分数の計算（通分と四則演算）（P43～56） 通分と通分のやり方・通分が不要な場合と必要な場合の計算	第３回	
5	正負の数と正負の数の計算（P16～33） 正負の数とは・正負の数の混ざった加減乗除	第３回	第２回締切
6	文字式と文字式の計算・単項式と多項式・整式（P70～79） 文字式のルールと計算方法。文字式の分類としての単項式と多項式。	第４回	
7	整式の加法と減法（P79） 単項式同士の加法と減法・単項式と多項式の加法と減法・多項式同士の加法と減法	第４回	
8	整式の乗法・展開公式（P83～88） 単項式×単項式・単項式×多項式・多項式×多項式	第５回	
9	因数分解（P89～93） 共通因数でくくる・因数分解公式の利用	第５回	最終締切
10	１次方程式と１次不等式（P102～103） １次方程式と不等式の解き方	第６回	
11	平方根（P95～102） 平方根・根号のついた計算・根号の変形	第６回	
12	テスト対策 テスト対策プリントで単位認定試験の勉強をしっかりすること。		

履修の留意点	欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	高校数学入門B	教科担当	礒部翼
標準単位数	2　単位	教科書・教材	数学Ⅰ入門
レポート数	6　枚		
指導目標	・高等学校の学習内容に入る前に、特に身につけておくべき内容（小学校や中学校での学習内容）を重点的に学び、高等学校の数学Ⅰへの準備を行う。 ・基礎的な数の計算から、正負の数や平方根の計算。文字式から発展し整式の計算を行い、２次方程式につながる展開と因数分解を身につける。		

スクーリング回数

回	教科書（課題内容） 内容（ページ）	対応レポート 回	締切日
1	展開・因数分解（P７～３３） 自然数と整数。加法・減法・乗法・除法の順番について。指数の概念と発展。	第１回	第１回締切
2	展開・因数分解（P７～３３） 整数の性質（倍数・約数・最小公倍数・最大公約数・素数）	第１回 第２回	
3	二次方程式（P43～56） 分数の成り立ちや性質・性質を利用した通分	第２回	
4	二次方程式（P43～56） 通分と通分のやり方・通分が不要な場合と必要な場合の計算	第２回 第３回	
5	三平方の定理（P16～33） 正負の数とは・正負の数の混ざった加減乗除	第３回	第２回締切
6	三平方の定理（P70～79） 文字式のルールと計算方法。文字式の分類としての単項式と多項式。	第３回 第４回	
7	関数 単項式同士の加法と減法・単項式と多項式の加法と減法・多項式同士の加法と減法	第４回	
8	１次関数（P83～88） 単項式×単項式・単項式×多項式・多項式×多項式	第４回 第５回	
9	二次関数（P89～93） 共通因数でくくる・因数分解公式の利用	第５回	最終締切
10	二次関数（P102～103） １次方程式と不等式の解き方	第５回 第６回	
11	平方根（P95～102） 平方根・根号のついた計算・根号の変形	第６回	
12	テスト対策 テスト対策プリントで単位認定試験の勉強をしっかりすること。		

履修の留意点	欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	数学検定演習		教科担当	礒部　翼
標準単位数	2　単位	教科書・教材	実用数学技能検定　過去問題集　３級	
レポート数	6　枚			
指導目標	平方根、式の展開と因数分解、二次方程式、三平方の定理、円の性質、簡単な二次関数、簡単な統計　などを学び、社会で創造的に行動するために役立つ基礎的数学技能を身につける。 1.簡単な構造物の設計や計算ができる。2.斜めの長さを計算することができ、材料の無駄を出すことなく切断したり行動することができる。3.製品や社会現象を簡単な統計図で表示することができる。			

スクーリング回数

回	教科書（課題内容） 内容（ページ）	対応レポート 回	締切日
1	１次方程式・２次方程式・連立方程式 比例反比例・確率	第１回	第１回締切
2	１次方程式・２次方程式・連立方程式 比例反比例・確率	第１回	
3	データの分析・円柱の体積と側面積 連立方程式・比例・２次関数	第２回	
4	データの分析・円柱の体積と側面積 連立方程式・比例・２次関数	第２回	
5	時間と速さと距離・円錐の体積と側面積 比例反比例・平方根の計算	第３回	第２回締切
6	時間と速さと距離・円錐の体積と側面積 比例反比例・平方根の計算	第３回	
7	図形の内角・２乗の比例・反比例・確率・円錐の体積と側面積 整数問題・２次方程式	第４回	
8	図形の内角・２乗の比例・反比例・確率・円錐の体積と側面積 整数問題・２次方程式	第４回	
9	過去問題演習		最終締切
10	過去問題演習		
11	過去問題演習		
12	テスト対策		

履修の留意点	欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	数学演習Ⅰ（共通テスト対策数学ⅠA）		教科担当	礒部　翼
標準単位数	2　単位	教科書・教材	チャート式　新課程　基礎と演習　数学Ⅰ＋A	
レポート数	6　枚			
指導目標	数学ⅠAの基礎から応用について学び、特に大学入学共通テストに向けた学習を行う。			

スクーリング回数	回	教科書（課題内容） 内容（ページ）	対応レポート 回	締切日
	1	平方根と根号　P54～P58 平方根の基礎、計算、有理化	第１回	第１回締切
	2	平方根と根号　P54～P58 平方根の代入計算	第１回	
	3	２次関数の平方完成と平行移動　P117～P125 ２次関数の頂点と軸を求める・グラフを書く・標準形と一般形	第２回	
	4	２次関数の平方完成と平行移動　P117～P125 ２次関数の頂点と軸を求める・グラフを書く・標準形と一般形	第２回	
	5	２次関数の最大値と最小値　P127～P150 ２次関数の最大値と最小値を求める・定義域がある場合とない場合・関数の特定	第３回	第２回締切
	6	２次関数の最大値と最小値　P127～P150 ２次関数の最大値と最小値を求める・定義域がある場合とない場合・関数の特定	第３回	
	7	２次方程式および２次関数のグラフ　P156～P166 ２次方程式を解く・グラフとｘ軸の共有点・関数の特定	第４回	
	8	２次方程式および２次関数のグラフ　P156～P166 ２次方程式を解く・グラフとｘ軸の共有点・関数の特定	第４回	
	9	２次不等式　P167～P191 ２次不等式を解く・判別式の利用・方程式の特定および解く・絶対値方程式	第５回	最終締切
	10	２次不等式　P167～P191 ２次不等式を解く・判別式の利用・方程式の特定および解く・絶対値方程式	第５回	
	11	三角比　P196～P218 三角比の相互関係・三角方程式	第６回	
	12	テスト対策		

履修の留意点	欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	高校英語入門A		教科担当	辻・大内
標準単位数	2　単位	教科書・教材	英語Ⅰ入門	
レポート数	6　枚			
指導目標	アルファベット、現在時制動詞（ｂｅ動詞、一般動詞）の否定文・疑問文など中学校の基礎内容の定着を図る。			

スクーリング回数	回	教科書（課題内容） 内容（ページ）	対応レポート 回	締切日
	1	アルファベットに慣れよう（P.５） 今期の学習予定内容の説明を行う。ブロック体のアルファベットの大文字・小文字を順番に書けるよう学習する。	第１回	第１回締切
	2	ｂｅ動詞（P.11）・自己紹介文（P.7、12）・人称代名詞（P.10、14、15）・プレ小テスト（アルファベット） is,am,areのｂｅ動詞の使い分けを学習する。また、それを使って自己紹介文を作れるようにする。	第１回 第２回	
	3	人称代名詞（P.10、14、15）・ｂｅ動詞の否定文・疑問文（P.15、16）・小テスト（アルファベット） be動詞（is,am,are)の疑問文とその答え方や否定文を学習する。	第２回	
	4	一般動詞の３単現のSのつけ方（P.18、19） 一般動詞の３人称・単数・現在形について学習する。３単現のS（es)をどのように発音するのかを学ぶ。	第３回	
	5	一般動詞の使い分け（P.18、19）・いろいろなあいさつ（P.19） どのような時に３単現の形にするのかを学び、使い分けができるようにする。	第３回	第２回締切
	6	名詞の複数形（P.22～24）、代名詞の複数形（P.23） 5種類ある複数形の作り方とその発音、人称代名詞の複数形を学ぶ。	第４回	
	7	名詞の複数形（P.22～24）、代名詞の複数形（P.23）・パフォーマンス課題の配布とその説明 日本文に合う英文になるように、並べ替えの英作文に挑戦する。	第４回	
	8	一般動詞の否定文①・疑問文①（P.34～37） doを使った否定文、疑問文とその答え方について学習する。	第５回	
	9	一般動詞の否定文②・疑問文②（P.38、39）・小テスト（一般動詞の否定文・疑問文） doesを使った否定文、疑問文とその答え方について学習する。	第５回	最終締切
	10	There is(are)～の文（P.43、44）・場所を表す語句（前置詞） 人や物が「ある」「いる」という時に使う表現を学習する。様々な場所を表す前置詞についても学ぶ。	第６回	
	11	疑問詞（P.47～50） 今期ではwhat,who,howの3つの疑問詞を学習する。	第６回	
	12	試験対策		

履修の留意点	欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	高校英語入門B		教科担当	辻・大内
標準単位数	2　単位	使用教科書	英語Ⅰ入門	
レポート数	6　枚	使用副教材		
指導目標	過去時制動詞（ｂｅ動詞、一般動詞）の否定文・疑問文、現在進行形、助動詞、命令文、to不定詞などを中心に中学校の基礎内容の定着を図る。			

スクーリング回数	回	教科書（課題内容） 内容（ページ）	対応レポート 回	締切日
	1	今期の学習予定内容の説明を行う。 過去を表す語句（Ｐ．６２）、ｂｅ動詞の過去形、ｂｅ動詞の否定文（Ｐ．５８，５９）の作り方を学ぶ。	第１回	第１回締切
	2	ｂｅ動詞の疑問文（Ｐ．６０）一般動詞の過去形（規則動詞・不規則動詞）（Ｐ．６２） was,wereを使った疑問文とその答え方や一般動詞の過去形の形を規則的なものと不規則的なものの形と発音を学ぶ。	第１回 第２回	
	3	一般動詞の否定文と疑問文とその答え方（Ｐ．６６，６７） Didを使った否定文と疑問文の作り方を学習する。	第２回	
	4	疑問詞（Ｐ．４７，７０～７２） 疑問詞のwhat,who,howのある疑問文の作り方とその答え方を学ぶ。パフォーマンス課題の配布（不規則動詞の変化表）	第３回	
	5	所有代名詞（Ｐ．８２，８３） 人称代名詞の表を覚え、人称代名詞の「～のもの」という意味の所有代名詞の使い方を学ぶ。小テスト（動詞の活用）	第３回	第２回締切
	6	現在進行形（Ｐ．７８） 動詞のing形の作り方が4種類あることを確認し、形を覚え発音を学習する。	第４回	
	7	現在進行形の否定文や疑問文（Ｐ．７９） 現在進行形の否定文や疑問文の作り方を学ぶ。現在進行形の文に書き替える練習もする。	第４回	
	8	助動詞(can,will,may,must,should) それぞれの助動詞の意味や使い方を学習し、和訳もできるようにする。また、否定文や疑問文の作り方も学ぶ。	第５回	
	9	命令文（Ｐ．８８，８９） いろいろな種類の命令文の作り方や和訳の仕方を学ぶ。	第５回	最終締切
	10	to不定詞 不定詞の3つの用法の基本的な訳し方や使い方を学び、和訳ができるようにする。	第６回	
	11	to不定詞 不定詞の用法を意識しながら、並べ替え問題に取り組む。	第６回	
	12	試験対策		

履修の留意点	欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	英語検定演習Ⅰ		教科担当	
標準単位数	2　単位	教科書・教材	英検総合トレーニング3級	
レポート数	6　枚			
指導目標	英語検定3級レベルの文法、単語、熟語、語句を習得し、英作文およびリスニング練習を行い合格を目指す。			

スクーリング回数

回	教科書（課題内容） 内容（ページ）	対応レポート 回	締切日
1	文法チェック①②（P.4～7） 今期の学習予定内容の説明を行う。現在完了、受動態を学習し、確認問題に取り組む。	第１回	第１回締切
2	文法チェック③④⑤（P.8～13） 関係代名詞、不定詞、比較を学習し、確認問題に取り組む。	第１回 第２回	
3	練習問題　筆記１①②（P.14～17） 頻出語句を確認し覚え、問題の形式に慣れるよう確認問題に取り組む。	第２回	
4	練習問題　筆記１③（P.18～19） 頻出語句を確認し覚え、問題の形式に慣れるよう確認問題に取り組む。	第３回	
5	練習問題　筆記２（P.20～23） 会話文の内容を把握し、空所に適切な文を補えるよう学習する。	第３回	第２回締切
6	練習問題　筆記３-A（P.24～27） 掲示から内容を適切に読み取り、質問に答えられるよう学習する。	第４回	
7	練習問題　筆記３-B（P.28～31） 手紙またはメールの内容を適切に読み取り、質問に答えられるよう学習する。	第４回	
8	練習問題　筆記３-C（P.32～35） 長文を読み取り質問に答えられるよう、語彙や文法を確認しながら内容を把握していく。	第５回	
9	練習問題　リスニングテスト（P.44,45,48） イラストを見ながら会話を聞き、続く応答として適切なものを選べるよう学習する。	第５回	最終締切
10	練習問題　筆記４（P.36～39） Eメールを読み、2つの質問に対応した15～25語の英作文に取り組む。	第６回	
11	練習問題　筆記５（P.40～43） 与えられたQUESTIONについて、理由を2つ含む25語～35語の英作文に取り組む。	第６回	
12	試験対策		

履修の留意点	欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	英語演習Ⅰ（進学英語）	教科担当	豊田昌伸
標準単位数	2　単位	教科書・教材	Wonderland 3rd Edition 5
レポート数	6　枚		

指導目標	
	Ⅰ 標準的な大学入試に対応できる英文読解力の基礎を固めることを目標とする。 2 これまでの学習内容を整理し直しながら、頻出構文と重要語彙を確認し、典型的な入試英文を精読して内容を正確に把握する力を養う。 3 段落構成や論理展開に注目して読むことで、英文を通して論理的に考える力を育成する。 4 継続的な語彙学習を通して単語力の向上と学習習慣の確立を図る。

スクーリング回数	教科書（課題内容）		対応レポート	
	回	内容（ページ）	回	締切日
	1	UNIT1 ジャンルが「環境」の英文読解（p.4,5）	第１回	第１回締切
	2	UNIT1 ジャンルが「環境」の英文読解（p.4,5） 対話文の英文読解（p.6）	第１回	
	3	UNIT2 ジャンルが「伝記」の英文読解（p.8,9）	第２回	
	4	informationの英文読解（p.10） UNIT3 ジャンルが「科学」の英文読解（p.12,13）	第２回 第３回	
	5	UNIT3 ジャンルが「科学」の英文読解（p.12,13） informationの英文読解（p.14）	第３回	第２回締切
	6	informationの英文読解（p.14） UNIT4 ジャンルが「エッセイ」の英文読解（p.16,17）	第３回 第４回	
	7	UNIT4 ジャンルが「エッセイ」の英文読解（p.16,17） letterの英文読解（p.18）	第４回	
	8	letterの英文読解（p.18） UNIT6 ジャンルが「環境」の英文読解（p.24,25）	第４回 第５回	
	9	UNIT6 ジャンルが「環境」の英文読解（p.24,25） advertisementの英文読解（p.22）	第５回	最終締切
	10	advertisementの英文読解（p.22） UNIT7 ジャンルが「資源」の英文読解（p.28,29）	第５回 第６回	
	11	UNIT7 ジャンルが「資源」の英文読解（p.28,29） informationの英文読解（p.30）	第６回	
	12	試験対策		

履修の留意点	欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	情報α		教科担当	宮川　直仁
標準単位数	2　単位	教科書・教材	2027 情報Ⅰ 実戦攻略大学共通テスト問題集	
レポート数	4　枚		ニューステップアップ 情報Ⅰ	
指導目標	情報Iなどで培った情報の知識を生かし、用語などを正確な意味で理解する。 また「情報」を読み取る力を確かなものにし、進学などで使える技術にする。			

スクーリング回数	教科書（課題内容）		対応レポート	
	回	内容（ページ）	回	締切日
	1	第1章 情報社会と問題解決 society、情報と情報の特性・プライバシー	第１回	第１回締切
	2	第1章続き 知的財産権・著作権・ブレーンストーミング		
	3	第2章 コミュニケーションと情報デザイン ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ、ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙﾃﾞｻﾞｲﾝ、2進数・16進数	第２回	
	4	第2章続き 2進数16進数、デジタル化		
	5	レポート解説予備日 レポート解説の予備または教科書の問題を解説します		第２回締切
	6	第3章 コンピュータとプログラミング 論理回路・五大装置・CPU・オーバーフロー	第３回	
	7	第3章続き オーバーフロー・モデル化・シミュレーション DNCL		
	8	第3章続き・第4章 情報通信ネットワークとデータの活用 代表的なプログラム、転送・メール、POSシステム	第４回	
	9	第4章続き 情報の収集と整理、データ		最終締切
	10	レポート解説予備日 レポート解説の予備または教科書の問題を解説します		
	11	テスト対策① テスト対策プリントを全体的に解説します		
	12	テスト対策② テスト対策プリントの中から重要な部分に絞り再解説します		

履修の留意点	欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	プレゼンテーション検定演習		教科担当	宮川　直仁
標準単位数	2　単位	教科書・教材	ポイントでマスター　基礎から始める情報リテラシー　office2016対応	
レポート数	4　枚			
指導目標	プレゼンテーション作成試験検定合格へのスキルを身に付ける。			

スクーリング回数

回	教科書（課題内容） 内容（ページ）	対応レポート 回	締切日
1	オリエンテーション 検定試験の受験が必須であることの確認 レポート1 検定を始める前の準備を確認する。	第１回	第１回締切
2	レポート２ 検定試験４級演習　検定試験４級の方法を理解する。 穴埋めと実技をしっかり確認する。	第２回	
3	レポート３ 社会に出てプレゼンテーションを行うときの最低限の知識を身に着ける 検定試験練習	第３回	
4	クラスルームに投稿している。または日本情報処理検定協会のホームページにある「プレゼンテーション検定」の問題を７回以上完成させよ。 印刷データが必要な場合は早めに申し出ること！！ ３回完成で レポート３合格 ７回完成で レポート４合格 とする。（７回を超えたものはパフォーマンス課題の点数とする。） 検定に関係ないことをし、ほかの頑張っている生徒を著しく邪魔をする場合、レポートの合格を認めない場合もある。 完成したデータは、「指定したフォルダ」に「指定したフォルダ名」で保存してください。		
5			第２回締切
6		第４回	
7			
8			
9			最終締切
10	検定試験リハーサル 検定試験と同様の状態でリハーサルを行います。	検定試験	
11	検定試験 プレゼンテーション検定を実施します。		
12	テスト対策 テスト対策を解説します。		

履修の留意点	欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	日本語ワープロ検定演習Ⅰ		教科担当	岡田　磨生
標準単位数	2　単位	教科書・教材	ポイントでマスター　基礎からはじめる情報リテラシー　office2016実教出版	
レポート数	4　枚			
指導目標	レポートを中心にワードを使い、演習を通じて速度・文書作成の基礎から応用まで検定の目標に応じた学習を行い、検定の合格を目標とする。			

スクーリング回数

回	教科書（課題内容） 内容（ページ）	対応レポート 回	締切日
1	オリエンテーション 教科書　第2章　ワードの使い方紹介	第１回	第１回締切
2	級別演習 ワードにおける基礎的な機能を用いた演習		
3	級別演習 検定課題を用いた演習に取り組む　確認（小テスト実施日）	第２回	
4	級別演習 検定課題に沿って指定の課題を完成させる		
5	級別演習 検定課題の作成	第３回	第２回締切
6	級別演習 検定課題を時間内に完成させる　確認（パフォーマンス課題）		
7	級別演習 検定課題を時間内に完成させる	第４回	
8	級別演習 検定課題を時間内に完成させる		
9	検定実施日 スクーリング内に検定を実施	第１回 第２回 第３回 第４回	最終締切
10	レポート最終確認　（検定未受験者追試験日）		
11	テスト対策1		
12	テスト対策2		

履修の留意点	欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	情報処理技能検定演習Ⅰ		教科担当	岡田　磨生
標準単位数	2　単位	教科書・教材	ポイントでマスター　基礎からはじめる情報リテラシー　office2016実教出版	
レポート数	4　枚			
指導目標	レポートを中心にエクセルを使い、表計算の基礎から応用まで検定の目標に応じた学習を行い、検定の合格を目標とする。			

スクーリング回数	教科書（課題内容）		対応レポート	
	回	内容（ページ）	回	締切日
	1	オリエンテーション 教科書　第3章　エクセルの使い方	第１回	第１回締切
	2	級別演習 エクセルにおける基礎的な機能と関数のを用いた演習		
	3	級別演習 検定課題を用いた演習に取り組む　確認（小テスト実施日）	第２回	
	4	級別演習 検定課題に沿って指定の課題を完成させる		
	5	級別演習 検定課題の作成	第３回	第２回締切
	6	級別演習 検定課題を時間内に完成させる　確認（パフォーマンス課題）		
	7	級別演習 検定課題を時間内に完成させる	第４回	
	8	級別演習 検定課題を時間内に完成させる		
	9	検定実施日 スクーリング内に検定を実施	第１回 第２回 第３回 第４回	最終締切
	10	レポート最終確認　（検定未受験者追試験日）		
	11	テスト対策1		
	12	テスト対策2		

履修の留意点	欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	文書デザイン検定演習Ⅰ		教科担当	岡田　磨生
標準単位数	2　単位	教科書・教材	ポイントでマスター　基礎からはじめる情報リテラシー　office2016実教出版	
レポート数	4　枚			
指導目標	レポートを中心にワードを使い、演習を通じて図の作成や画像の挿入などといった、基礎から応用まで検定の目標に応じた学習を行い、検定の合格を目標とする。			

スクーリング回数

回	教科書（課題内容） 内容（ページ）	対応レポート 回	締切日
1	オリエンテーション 教科書　第2章　ワードの使い方紹介	第１回	第１回締切
2	級別演習 ワードにおける基礎的な機能を用いた演習		
3	級別演習 検定課題を用いた演習に取り組む　確認（小テスト実施日）	第２回	
4	級別演習 検定課題に沿って指定の課題を完成させる		
5	級別演習 検定課題の作成	第３回	第２回締切
6	級別演習 検定課題を時間内に完成させる　確認（パフォーマンス課題）		
7	級別演習 検定課題を時間内に完成させる	第４回	
8	級別演習 検定課題を時間内に完成させる		
9	検定実施日 スクーリング内に検定を実施	第１回 第２回 第３回 第４回	最終締切
10	レポート最終確認　（検定未受験者追試験日）		
11	テスト対策1		
12	テスト対策2		

履修の留意点	欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	イラスト講座		教科担当	大岡　奈都子
標準単位数	2　単位	教科書・教材	講師の作例及び実作	
レポート数	6　枚		「骨格百科-スケルトン－その凄い形と機能」（アンドリュー・カーク）	
指導目標	・前半は人物と動物の基本的な形を、実際の作画練習の中で体験する。 ・後半は好きな小説の挿絵制作課題。場面の状況を理解しながら自分のイメージを絵にすることの楽しさと表現することの可能性を体験する。			

スクーリング回数	教科書（課題内容） 回	内容（ページ）	対応レポート 回	締切日
	1	人物の動き（骨格の動きをトレースする）	第１回	第１回締切
	2	人物キャラクターを描く（骨格のアタリを基に人物を描く）	第２回	
	3	人物キャラクターを描く（骨格のアタリを基に人物を描く）	第２回	
	4	動物の動き（骨格の動きをトレースする）	第３回	
	5	動物キャラクターを描く（骨格のアタリを基に動物を描く）	第４回	第２回締切
	6	動物キャラクターを描く（骨格のアタリを基に動物を描く）	第４回	
	7	挿絵のための設定画を作る① （好きな小説の中から絵にした場面を選び、情報整理とキャラクター設定画を作る）	第５回	
	8	挿絵のための設定画を作る② （構図を決めるためのエスキースの手法を学ぶ）	第５回	
	9	挿絵を描く（設定画を基に実際に挿絵を制作する）	第６回	最終締切
	10	挿絵を描く（設定画を基に実際に挿絵を制作する）	第６回	
	11	挿絵を描く（設定画を基に実際に挿絵を制作する）	第６回	
	12	テスト対策（テスト時に仕上げる作品のエスキースを作る）		

履修の留意点	鉛筆を忘れないこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	イラスト講座（デジタル）		教科担当	佐藤　美里
標準単位数	2　単位	教科書・教材	自主教材	
レポート数	6　枚			
指導目標	・アイビスペイントの基本操作を身につける。 ・アイビスペイントでイラストや簡単な漫画を描けるようになる。 ・マンガの制作方法を学ぶ。			

スクーリング回数

回	教科書（課題内容） 内容（ページ）	対応レポート 回	締切日
1	アイビスペイントの基本操作を学ぶ オリエンテーション	第１回	第１回締切
2	フキダシ、効果音を描く練習 ４コマ漫画の穴埋めをする	第１回 第２回	
3	マンガのストーリーの作り方を学ぶ マンガのストーリーの作り方を学ぶ	第２回	
4	１コマ漫画を描いてみよう １コマ漫画を描いてみよう	第２回 第３回	
5	マンガのキャラクターを考えよう マンガのプロットを作ろう①	第３回	第２回締切
6	マンガのプロットを作ろう② マンガのネームを作ろう	第３回 第４回	
7	マンガの下描きを作ろう① マンガの下描きを作ろう②	第４回	
8	マンガの清書をする　ペン入れ① マンガの清書をする　ペン入れ②	第４回 第５回	
9	マンガにベタ、ホワイトを入れる① マンガにベタ、ホワイトを入れる②	第５回	最終締切
10	マンガにトーンを貼る（キャラクター） マンガにトーンを貼る（背景）	第５回 第６回	
11	マンガの仕上げをする　効果線や書き文字 マンガの仕上げをする　最終確認	第６回	
12	完成したマンガの身に発表会		

履修の留意点	忘れ物をしないこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	絵画(油絵)	教科担当	池田　哲哉
標準単位数	2　単位	教科書・教材	授業用テキスト
レポート数	4　枚		
指導目標	絵画(油絵)の授業を通して、これまで経験したことのない教材に触れることを通し、新たな学びと物の見方や考え方を深める。作品が完成したときの喜びや、その過程の楽しさを味わう。		

スクーリング回数

回	内容（ページ）	対応レポート 回	対応レポート 前期締切日
1	はじめに(P1)	第１回	第１回締切
	油絵具の特徴・用具について(P1)		
2	ナイフや溶き油などの使い方(P1)		
	作品制作		
3	絵具の混ぜ方や塗り方・筆の洗い方(P1)		
	作品制作		
4	モチーフの選び方やスケッチ(P2)	第２回	
	作品制作		
5	「下書き」から「おつゆがき」(P2)		第２回締切
	作品制作		
6	キャンパスに描く時の注意点(P2)		
	作品制作		
7	油絵具の特徴を知る(P3)	第３回	
	作品制作		
8	描き始めを振り返って(P3)		
	作品制作		
9	モチーフが持つ色や形の特徴をつかむ(P4)		最終締切
	作品制作		
10	油絵具の特徴を生かして描く(P4)	第４回	
	作品制作		
11	仕上げを意識して描く(P5)		
	作品制作		
12	鑑賞(全員で他の生徒の作品を見て評価する)油絵の授業全体を通して振り返る。		

履修の留意点	欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。
	空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	硬筆検定演習Ⅰ	教科担当	三宅公巳
標準単位数	2　単位	教科書・教材	硬筆書写技能検定合格のポイント
レポート数	4　枚		
指導目標	硬筆書写一般の知識と技能を身に付けるとともに、手書き文字のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現する。		

スクーリング回数	回	教科書（課題内容）	対応レポート 回	対応レポート 締切日
	1	オリエンテーション・硬筆書写検定第(1問～第10問) 教科書	第1～4回	第1回締切
	2	第1問　速書 教科書　P9～26	第1回	
	3	第2問　漢字(楷書・行書) 教科書　P27～44	第1回	
	4	第3問　漢字仮名交じり文（縦書き） 教科書　P45～62	第2回	第2回締切
	5	第4問　漢字仮名交じり文（横書き） 教科書　P63～78	第2回	
	6	第5問　はがきの表を書く 教科書　P79～94	第3回	
	7	第6問　掲示 教科書　P95～104	第3回	
	8	第7問　漢字の部分の名称 教科書　P105～113	第3回	
	9	第8問　漢字の筆順（楷書） 教科書　P114～126	第4回	最終締切
	10	第9問　草書を読む 教科書　P127～136	第4回	
	11	第10問　漢字の字体 教科書　P137～148	第4回	
	12	テスト対策		

履修の留意点	欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	硬筆書写一般の知識と技能を身に付けている。
思・判・表	手書き文字のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、手書き文字の美を味わい捉えたりしている。
主体性	主体的に自らの書写技能を把握し、高めようとしている。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	簿記検定演習	教科担当	石岡　麻衣
標準単位数	2　単位	教科書・教材	スッキリわかる日商簿記３級テキスト＋問題集
レポート数	4　枚		
指導目標	日商簿記３級の前半部分の履修を目標とする。		

スクーリング回数	回	教科書（課題内容） 内容（ページ）	対応レポート 回	対応レポート 締切日
	1	仕分けの基本　P４～１９	第１回	第１回締切
	2	商品売買の仕訳　P２０～３０		
	3	現金にかかわる仕訳　P３２～４０	第２回	
	4	普通預金・定期預金・当座預金・小切手　P４２～５９		
	5	手形と電子記録債権（債務）P６１～７２		第２回締切
	6	貸付金・借入金、手形貸付金・手形借入金　P７３～８０	第３回	
	7	商品や、商品以外のものを売買したときの仕訳　P８２～９３		
	8	従業員にかかわる仕訳　P９４～９９		
	9	商品券・消耗品・その他の費用の仕訳　P１００～１１７	第４回	最終締切
	10	貸し倒れと貸倒引当金　P１２０～１３２		
	11	有形固定資産と減価償却　P１３３～１４５		
	12	テスト対策 単位認定試験の勉強をしっかりすること。		

履修の留意点	欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	韓国語初級		教科担当	鄭寿香
標準単位数	2　単位	教科書・教材	ヒチョル先生のひとめでわかる　韓国語きほんのきほん	
レポート数	4　枚		担当教師作成教材	
指導目標	・ハングルの母音・子音の読み書きを理解し、基本的な単語を正しく読めるようにする。 ・基本的な挨拶表現や自己紹介表現を身につけ、簡単なやり取りができるようにする。 ・韓国語の語順や助詞など、日本語との共通点と相違点を理解する。 ・数字、曜日、時間、食べ物、家族、学校生活など、身近な場面で使う基本語彙を習得する。 ・基本的な名詞、動詞、形容詞の使い方を理解し、簡単な文を作れるようにする。 ・「～です／ます」「～があります・います」「～したいです」などの初歩的な文型を使えるようにする。 ・発音変化やパッチムの基本を理解し、簡単な韓国語を自然に発音できるようにする。 ・韓国の文化や生活習慣に関心を持ち、言語と文化を関連づけて学ぶ姿勢を養う。			

スクーリング回数	教科書（課題内容） 回	内容（ページ）	対応レポート 回	締切日
	1	Lesson１～４　韓国語とは、ハングルのしくみと組み合わせ 基本母音と基本子音を覚えよう（12ページから21ページ）	第１回	第１回締切
	2	1回目スクーリングの続き　Lesson７～８　激音、濃音を覚えよう（ 26ページから29ページ）	第１回 第２回	
	3	Lesson５～６　合成母音を覚えよう①②（22ページから25ページ）	第２回	
	4	Lesson10　ハングルで自分の名前を書いてみよう（38ページから42ページ） ハングルでいろいろな物の名前や地名を書いてみる	第２回	
	5	Lesson９　パッチムを覚えよう　（30ページから37ページ）	第３回	第２回締切
	6	きほんのフレーズ①あいさつ、②お礼　謝罪、③食事（56ページから67ページ） ④外出先、⑤ショッピング、⑥別れのあいさつ	第３回 第４回	
	7	きほんの単語①家族、②体　謝罪、③食事（44ページから47ページ）	第４回	
	8	きほんの単語③数詞、④曜日、季節、時 きほんの単語⑤旅行で使える単語その１，その２（50ページから55ページ）	第４回	
	9	名詞＋～です（74ページから77ページ） 입니다, 예요/이에요	小テスト	最終締切
	10	名詞＋～ではありません（78ページから81ページ） 가/이 아닙니다, 가/이 아니에요		
	11	名詞+～がいます、あります　가/이 있습니다,있어요（82ページから89ページ） ～します 해요　　助詞を覚えよう		
	12	テスト対策 テスト対策授業で単位認定試験の範囲を確認し、勉強をしっかりすること。		

履修の留意点	欠席した場合，次までに，自分でレポートをやっておくこと。 空欄の多いレポートは，「提出」とは認めることができません。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。

令和８年度　通信教育実施計画

並木学院福山高等学校

科目名	調理		教科担当	髙橋　恵子
標準単位数	2　単位	教科書・教材	動画でわかる　スタートクッキング	
レポート数	6　枚			
指導目標	・調理の基礎、献立作成及び様式別調理などについて体系的・統計的に理解するとともに、関連する技術を身につける。 ・食生活の現状から調理に関する課題を発見し、調理を通して食生活の充実向上を担う職業人として合理的阿kつ創造的に解決する力を養う。			

スクーリング回数	教科書（課題内容） 回	内容（ページ）	対応レポート 回	締切日
	1	①計量の基本・水かげん(P.5)　②だしのとり方	第１回	第１回締切
		③実習１の説明　和食：親子どんぶり（P.24）　豆腐とわかめのみそ汁（P.32）ブロッコリーのあえ物（P.53）		
	2	調理実習１　和食		
	3	①食材の切り方（P.6～7）　②下ごしらえのコツ（P.12～13）	第２回	
		③実習２の説明　麺料理：豚肉のせん切り焼きそば（P.32）　奶豆腐		
	4	調理実習２　麺料理		
	5	①小テスト実施（食材の切り方名称）　②調理のコツ（P.15）	第３回	第２回締切
		③調理実習３　洋食：ハンバーグステーキ（P.42）　豆乳プリン（P.65）		
	6	調理実習３　洋食		
	7	①配膳とテーブルマナー（P.20）	第４回	
		②実習４の説明　パンを使った献立：トーストサンド（P.27）　キャロットラペ（P.55）		
	8	調理実習４　パンを使った献立		
	9	①配膳とテーブルマナー(P.21)	第５回	最終締切
		②実習５の説明　中華：焼き餃子（P.46）　栗米湯（P.35）		
	10	調理実習５　中華		
	11	①栄養素解説	第６回	
		②実習⑥の説明　お弁当：三食ご飯弁当（P.66）		
	12	調理実習６　お弁当 13週目（認定試験）も実習を行います。（ピザ・マルゲリータ）		

履修の留意点	空欄の多いレポートは、「提出」とは認めることができません。
	グループ実習です。欠席すると他の人の負担が増えるため、欠席しないようにしましょう。
評価の観点	学習活動を通して，観点別評価に基づき５段階評価とする。
知識・技能	各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況を評価する。
思・判・表	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているかを評価する。
主体性	自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする意志的な側面を評価する。